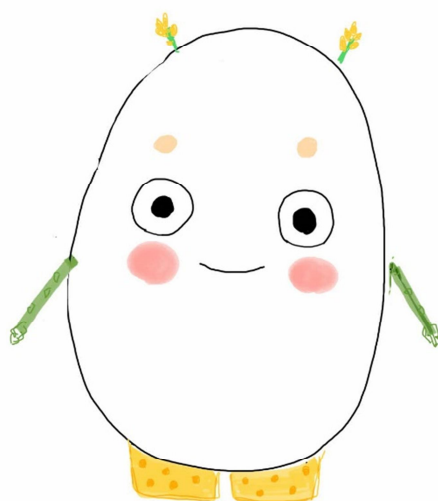


令和7年度
第3回安平町町民自治推進委員会

議 案



Child
Friendly
Cities
Initiative

unicef 
for every child

日 時 令和8年3月27日（金）午後1時30分～

場 所 安平町役場総合(早来)庁舎 中集会室1

次 第

1 開会

2 高村委員長あいさつ

3 議 事

(1) 【振り返る】

- ・ 前回 9/5について
- ・ これまでの歩み

(2) 【話し合う】

①令和7年度(上半期)町民参画の実施状況について

～ 町民参画推進条例に基づく町民参画の実施結果をお知らせ

②第3次安平町総合計画の策定について

～ 令和9年度から新しい計画をつくるため、これまでの町の取り組みを振り返る。

③提言書の作成に向けて

～ 任期満了時に町長へ提言を行うための内容を検討する。

(3) 【事務局から報告】

- ・ 任期満了に伴う次期委員の選定について
- ～ 公募の実施予定などをお知らせ

4 その他

- ・ 次回の開催について

5 閉 会

■ 町民参画手続の実施状況（令和7年度実績）

対象期間：令和7年4月1日～令和7年9月30日

(1)パブリックコメント

No.	事業名称及び担当課	概要	募集期間	周知方法	対象	意見件数	結果の公表状況	摘要
1	安平町デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進計画【第2.0版】 【総務課情報グループ】	デジタル技術を中心とした社会変革により、『デジタル技術を活用した便利で快適に暮らせるまちの実現』を目指すべき姿勢とし、実現に向けたその見通しをたてるため、安平町デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進計画【第2.0版】を策定するもの。	令和7年9月19日～10月14日	広報笑顔9月号、HPお知らせ欄、総合庁舎及び総合支所での閲覧、10/4苫小牧民報	町民	1名2件	HP(パブリックコメントページ)	
2	安平町過疎地域持続的発展市町村計画の変更【政策推進課政策推進グループ】	過疎地域の持続的発展に関する特別措置法に基づく過疎地域の指定に伴い、過疎からの自立と地域の持続的発展の実現の為に策定するもの	令和7年11月10日～令和7年12月3日	広報笑顔11月号、町HP、総合庁舎及び総合支所での閲覧	町民	意見なし	HP(パブリックコメントページ)	
3	安平町下水道ビジョン・経営戦略(案)の策定【水道課 業務グループ】	経営環境が厳しくなる中これまで以上に精緻に経営の現状分析や中長期的な視点からの将来予測を行って課題を抽出し、課題解決に向けた取組みにより一層の経営基盤の強化を図っていくため策定するもの	令和8年1月9日～2月6日	広報あびら1月号、町HP、総合庁舎及び総合支所での閲覧	町民	意見なし	HP(パブリックコメントページ)	

(2)アンケート調査

No.	事業名称及び担当課	概要	実施期間	実施方法	対象	回答件数	結果の公表状況	摘要
1	該当なし							

(3)モニター制度

No.	事業名称及び担当課	概要	実施期間	公募方法	参加状況	意見件数	結果の公表状況	摘要
1	該当なし							

(4)町民説明会(審議会等以外の団体への意見聴取を含む)

No.	事業名称及び担当課	概要	実施日又は実施期間	周知方法	対象	参加状況	結果の公表状況	摘要
1	追分の学校を考える会キックオフ住民説明会 【教育委員会事務局】	将来的な追分地区における学校の在り方を検討するにあたり、学校のコンセプトを策定を進めるため、地域住民からの意見聴取を目的として開催したキックオフの住民説明会を実施したもの。	令和7年9月6日(土)	HP、LINE@、広報折込	町民、出身者、通勤者等	68名	HP・広報10月号、担当窓口での閲覧	

(5)ワークショップ

No.	事業名称及び担当課	概要	実施日又は実施期間	周知方法	対象	参加状況	結果の公表状況	摘要
1	追分の学校を考える会キックオフ住民説明会(再掲) 【教育委員会事務局】	将来的な追分地区における学校の在り方を検討するにあたり、学校のコンセプトを策定を進めるため、地域住民からの意見聴取を目的として開催したキックオフの住民説明会を実施したもの。	令和7年9月6日(土)	HP、LINE@、広報折込	町民、出身者、通勤者等	68名	HP・広報10月号折込、担当窓口での閲覧	
2	第1回追分の学校を考える会 【教育委員会事務局】	追分地区の学校を考えるにあたり、どんなみらいがほしいのか？どんなまちにしたいのか？についてワークショップを実施。	令和7年9月27日(土)	HP、LINE@、広報折込	町民、出身者、通勤者等	30名	HP・広報10月号折込、担当窓口での閲覧	
3	第2回追分の学校を考える会 【教育委員会事務局】	追分地区の学校を考えるにあたり、これからの時代の学びや学校づくりで大切にしたいことをテーマにワークショップを実施。	令和7年10月28日(火)【3部開催】 ・1部:9:30～12:00 ・2部:16:00～18:30 ・3部:18:30～21:00	HP、LINE@、広報折込	町民、出身者、通勤者等	計35名	HP・広報10月号折込、担当窓口での閲覧	

(6)審議会等において意見聴取を行ったもの

No.	事業名称及び担当課	概要	審議会の名称・開催日	第6条第1項の該当、審議内容等	結果の公表状況
1	安平町デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進計画【第2.0版】 【総務課情報グループ】	デジタル技術を中心とした社会変革により、『デジタル技術を活用した便利で快適に暮らせるまちの実現』を目指すべき姿勢とし、実現に向けたその見通しをたてるため、安平町デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進計画【第2.0版】を策定するもの。	第1回安平町未来創生委員会 令和7年6月27日(金)	1号(計画の変更)に該当 安平町未来創生委員会において計画案を説明・意見を聴取。	HP(会議録公表ページ)

(7)条例第6条第2項等の理由により町民参画を実施しなかったもの

No.	名称及び担当課	概要	第6条第1項の該当・判断日	実施しなかった理由(条例第6条第2項)
1	該当なし			

* 条例第6条第2項第2号(緊急に行う必要があるもの)に該当する案件は0件

【話し合い②】第3次安平町総合計画の策定について

安平町では、まちづくり全体について定める「総合計画」というものを作っています。この計画は、令和8年度までとなっており、現在次の第3次計画の作成に向けて準備を進めています。令和7年度は、アンケート調査など様々な機会を通じて意見聴取（町民参画）を進めてきました。

そこで本日は、これまでいただいた町民の皆さんを意見をご覧いただきながら、「これまでの安平町のまちづくりがどのように進められてきたのか」「その結果はどうだったのか」、皆さんの考えもお聞かせください。

令和7（2025）年度 第3次総合計画策定に係る町民参画活動実績

令和7(2025)年度 総合計画策定に係る町民参画活動実績					
	年月日	分類	種類	主な内容等	参画人数
1	5月20日	①	アンケート	5/20開始、6/30終了で愛着度調査	267
2	5月29日	①	アンケート	早来学園9年生授業にて、愛着度を調査	30
3	6月13日	①	アンケート	追分中3年生授業にて、愛着度を調査	15
4	6月27日	③	委員会	未来創生委員会にて今後の方向性を審議	14
5	6月30日	②	その他	議員全員協議会にて今後の方向性を意見交換	9
6	7月6日	①	アンケート	うまか祭りにおける愛着度調査	1,709
7	7月7日	①	アンケート	7/7開始、8/6終了で満足度重要度調査	389
8	8月19日	②	ワークショップ	教育まちづくりフォーラム100人会議にてウェルビーイング（しあわせ）に関する意見交換	88
9	8月27日	③	委員会	未来創生委員会にて町長より策定に関する諮問	12
10	9月30日	③	ワークショップ	教育まちづくりPT	12
11	10月5日	①	アンケート	道の駅（チーズショー）における愛着度調査	1,188
12	10月9日	その他	ヒアリング	追分地区学校づくりに係る地域の方、先生に対するマチの魅力や課題に関する調査	57
13	10月9日	③	アンケート	協力隊委員生業形成マネジメント業務における町に対する意識調査	22
14	10月10日	①	アンケート	お試し暮らし住宅利用者アンケート（現時点のものを受領）	9
15	11月10日	①	アンケート	庁内事例紹介 ～ウェルビーイング調査（社教G）	110
16	12月10日	③	委員会	未来創生委員会にて総合計画の進捗等確認	18
17	1月16日	②	その他	商工行政懇談会	18
18	1月28日	③	委員会	総合教育会議	11
19	2月20日	③	委員会	未来創生委員会	13

合計延べ人数 3,991名

※次のページからは、この表の主だった調査の結果を載せています。

早来学園9年生（中3相当）まちづくり授業 ～愛着度等調査

現在安平町が抱える最大の問題は「人口減少」であり、それを少しでも食い止めるために行政はどういったことをしているのか、それを踏まえた皆さんはどう考えるのか、といった授業を実施した。



【ご意見概要】

●プラス面

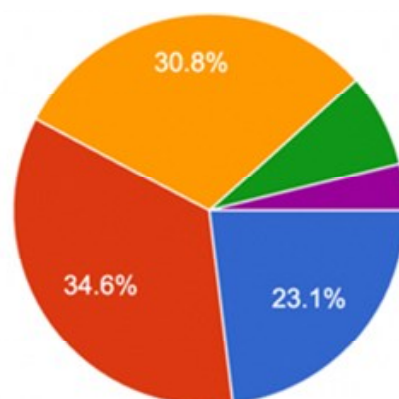
- ・大きなチェーンのドラックやコンビニがある
- ・馬やチーズ、菜の花がとても有名
- ・自然が豊か
- ・教育環境が整っている
- ・習い事ができる
- ・事故が少ない
- ・治安がいい
- ・苦小牧や千歳に近い
- ・スポーツができる環境がある
- ・子どもにやさしい
- ・比較的雪が少ない
- ・病院代が安くなる
- ・空港や港に近い

●マイナス面

- ・電車の本数が少ない
- ・遊ぶところが少ない
- ・お店が少ない
- ・街灯が少ない
- ・冬道が危険
- ・公共施設が少ない
- ・建物が少ない
- ・営業時間が早い
- ・道の駅が遠い
- ・公園が少ない
- ・山が多い
- ・宅配が来ない（遅い）
- ・入院や手術ができる病院が無い

この町が好きですか

26 件の回答



- 好き
- どちらかといえば好き
- どちらでもない
- あまり好きではない
- 好きではない

今日の感想を教えてください。↵

楽しかった↵

クイズが楽しかったです↵

安平の知らないところが知れてよかった↵

勉強になった。↵

話し合い楽しかったです↵

話し合いが多くて安平町の良さ悪さがよくしれた↵

これから安平町についてもっと世の中に広めて移住者を増やしていきたいと思った↵

特になし↵

安平町は外部から人気なこととても驚いた↵

安平町の課題を知れて良かった↵

今まで知らなかった安平町の良さを知ることができてよかった↵

安平町のことについてのことがよくわかりました。↵

安平であんまり悪くないんだな↵

安平町を知る良い機会になった↵

これからの授業には、校外学習もあるので楽しみ。↵

これからの町としてスポーツしてる子も多いわけだから、いろいろ施設を建設したりとかできたらいいなと。(自分の今後として)↵

楽しかった↵

安平町の良さを確認できた↵

結構安平町のことを知っていた。幸福度ランキングがこんな高いとは思わなかった。↵

今日の活動では、自分がまだ知らない安平のことを知ってさらに今後どう活かしていけるかということも改めて考えることができました。↵

安平町は日本の中でも結構有名ということがびっくりした。↵

20年後の人口があんな減ってしまう事に驚きました。↵

みんな協力していて、意見など、発表するときはそれぞれの班が一致団結していて、声も出ていて良かったです！貴重なお時間をいただいて説明してくれて誠にありがとうございました！↵

安平町が改めてどんなところかが分かった↵

改めて安平町のことを知ることができた。↵

安平町の現状を把握したり、今後のことを考えていく上で、だんだんとどんなことを発表したいかを決めることができた。↵

追分中3年生まちづくり授業 ～愛着度等調査

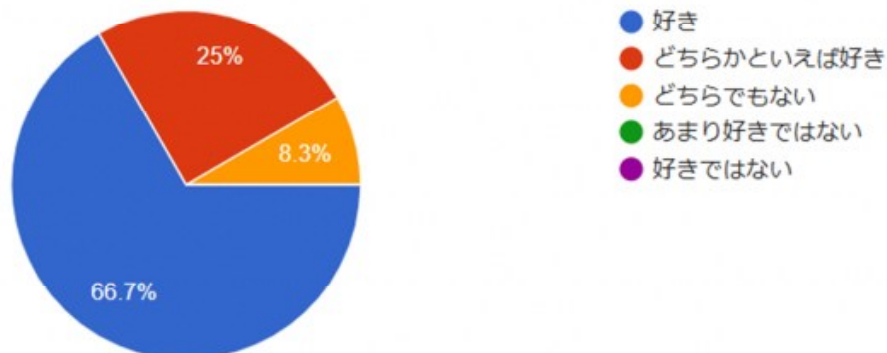
現在安平町が抱える最大の問題は「人口減少」であり、それを少しでも食い止めるために行政はどういったことをしているのか、それを踏まえた皆さんはどう考えるのか（地域とどう関わっていくか）、といった授業を実施した。

3.今日の感想を教えてください。	☆-1.この町が好きですか？	☆-2.えらんだ理由を教えてください。
安平町のためにしている取り組みがいくつかあって驚きました。	好き	自然がたくさんあって、人が少ないから。
三上さんに来ていただきとても良い話が聞けてよかった	どちらかといえば好き	もう少し大きめのスーパーが欲しい
追分の人口や僕たちが知らなかったことを詳しく知れたので良かった。	好き	自然もいっぱいあるしスキーができたりゆめもりのゆなどがあるから。
追分について詳しく知ることができた	好き	自然があって落ち着く場所
安平町についてもう一回理解できたし安平町の特産物について考えることが出来たから。	好き	自然豊かで優しい人が多い人と接しやすい街だと思ったから
班で自分の意見を共有したり、今まで知らなかったことが知れてよかったです。	どちらかといえば好き	電車の本数は少ないけど晴れている日の自然がとても綺麗だから。
安平町の深いところまで知ることができた。	好き	空気が綺麗で、近くの都市まで車でアクセスがよく住みやすいから。
安平町の現状を理解することができた。その課題を解決するために町民である私たちに何ができるかを考えることができた。	好き	自然豊かで町民が優しくて生活しやすいから。
班での意見や、自分の意見をたくさん考えることができてとても有意義な時間を過ごすことができた。	どちらかといえば好き	修学旅行に行く前まではあまり思っていなかったが、修学旅行で東京に行き、都会よりも穏やかな追分のほうがいいと思ったからです。
安平町について知っていると思っていたが、色々なランキングで上位にいることなどを知ることができとても自分の町を誇りに思うことができた。	好き	気を使わずにのびのびと生活でき、自然豊かで空気が綺麗なため。
今日の授業でもっと安平町のいい所とかを知る事が出来たのでよかったです。	好き	自然だから。
安平町について深く知ることができた	どちらでもない	メリットとデメリットの半々だから

☆-1.この町が好きですか？



12件の回答



追分地区学校づくりに関するヒアリング ～まちづくりについて

復興のシンボルとして早来学園が令和5年度に開校したことから、いよいよ老朽化等の課題がある追分地区の小中学校のあり方について検討が始まっている。

教育委員会事務局が地区住民等の方へヒアリングを行う中で、やはり「学校づくり」のベースとなる「町のありかた」や「そこに住まう人々の幸せ」ということが意見として出されている。

安平町の魅力

1. 人の温かさ・地域のつながり（計17名）

- 地域の人々が温かく、移住者を受け入れている
 - イベント協力や人のつながりが活発
 - 住民同士の距離が近く、防犯や子育てにも好影響
 - 夜は静かで治安が良い
- …など

2. 交通の利便性（計9名）

- 千歳空港、札幌、高速道路、港へのアクセスが良い
- 都会に近く、程よい田舎感
- 高校進学や医療へのアクセスも選択肢が豊富

3. 自然環境・景観の豊かさ（計12名）

- 菜の花畑、麦畑、丘陵風景など
- 四季の変化を身近に感じられる
- 豊かな自然環境が移住の決め手

4. チャレンジングな町・新しい挑戦の受け入れ（計6名）

- 移住者や新規事業への寛容さ
- 自分次第で挑戦できる環境

5. 子育て・教育施策の充実（計13名）

- 少人数教育や顔の見える関係性
- 保育園の異年齢交流、教員の柔軟な対応
- こども中心のまちづくり

6. その他

- 道の駅や地域交流拠点（ENTRANCE、まなびおなど）が活動の中心になっている。
- 高校生の居場所としても機能。
- 夜間は静かで治安が良い。
- 千歳方面など幅広い選択肢があり、進学自由度がある。
- 自衛隊・国鉄OBなど移住者コミュニティの結束。
- 個性的で魅力的な大人や地域活動が多い。
- 活動や地域貢献を通じて、教育や人生の選択に影響を与える体験ができる。
- 過ごしやすい気候や生活利便性も高い。

安平町の課題

1. 情報共有・発信不足（計11名）
 - 情報サイトの乱立や集約不足
 - 魅力の認識不足、町民への情報浸透不足
2. 子どもの遊び場不足（計5名）
 - 室内で体を動かせる施設不足
 - 雨天・冬季に遊べる施設が少ない
3. 高齢者の生活不安・医療・買い物環境不足（計12名）
 - 専門医療施設不足
 - 車依存による移動・買い物の不便
 - 介護・リハ施設不足
4. 地域間の摩擦・住民気質の差（計12名）
 - 追分と早来の意識・気質の違い
 - 地域間の軋轢や分断
5. 人口減少・子ども減少（計5名）
 - 同学年人数の減少
 - 産業基盤・企業誘致の弱さ
6. 高校・教育環境の選択肢不足（計12名）
 - 高校以降の進学選択肢が少ない
 - 部活動や自己表現の機会不足

7. その他

- 飲食店・商店の高齢化と減少
- 移住者サポートやコミュニティ参加意識の不足
- 観光資源・宿泊施設やアクティビティの不足
- 教育と福祉の連携不足
- 住宅不足や行政サービスの連携不足
- 水資源・土地利用・工業団地適性の課題

暮らしの中で感じる幸せ・増やしたい風景

～幸せを感じる瞬間～

1. 家族との日常・子どもの笑顔（計5名）

- 何気ない日常を家族と過ごせること
- 子どもが元気に遊ぶ姿や、保育園に楽しそうに通う姿
- 家族で過ごす時間や、子どもたちの仲良く遊ぶ姿

2. 地域とのつながり・温かさ・交流（計24名）

- 地域に受け入れられていると感じる瞬間
- 行事やイベントで顔と名前を覚えてもらえる、感謝される体験
- 世代を超えた交流や助け合い
- 子どもたちが安心して学校や地域で過ごせる雰囲気
- 近所や町全体で子どもを見守る光景
- 街や学校、地域での温かいやり取り

3. 自然に囲まれた生活・景観（計8名）

- 菜の花や麦畑、広い空、月や夕焼けなど自然の美しさを感じる
- 庭でのバーベキューやキャンプなど自由な自然体験
- 野鳥や自然環境が身近にあること

4. その他

- 新しい飲食店や交流の場が増えて町が明るくなった
- 子どもと大人と一緒に活動する世代間交流
- 趣味やスポーツを楽しめる環境
- 平和で安心できる生活

～増やしたい光景・雰囲気～

1. 多世代交流・子どもと大人と一緒に活動する光景（計6名）
 - 世代を超えた交流や助け合いの場を増やしたい
 - 高齢者や大人が子どもと関わることで学びや成長を実感できる場

2. 地域での集いの場（カフェ・マルシェなど）（計4名）
 - 高齢者や住民が気軽に集まれる交流の場
 - 地元産の野菜や手作り品を通じた地域イベント

3. 子どもが自由に遊べる環境・体験施設（計13名）
 - 安全に遊べる街や公園
 - 室内・屋外遊具や体験施設、スポーツ環境の整備
 - 年齢や障害を問わず楽しめる体験・学びの場

4. その他
 - 挨拶やコミュニケーションが自然にできる町
 - 孤立世代や子ども・若者が地域で安心して過ごせる関係性
 - 地産地消や町内循環による町の一体感
 - 自然に囲まれた暮らしや、家族連れで楽しめる環境
 - 移住者や観光客も楽しめる子どもフレンドリーな環境

お試し暮らし住宅利用者アンケート ～町外から見る安平町

安平町への移住をご検討される方が実際に住み、感じたことについてご意見を頂戴しています。

【ご意見概要】

●プラス面

- ・千歳や苫小牧に近い ・教育制度充実 ・トカイナカといった感じ
- ・バランスの取れた生活が送れる ・アイスリンク、スポーツ施設が充実
- ・町の方がみんな親切 ・近所の子どもたちが声をかけてきてくれた
- ・マイペースで過ごせる空気感 ・子ども園が印象的 ・図書室が充実
- ・スーパーのメニューが豊富でおいしい ・学校がきれい ・道の駅が楽しい

●マイナス面

- ・鹿が想像以上に多い ・大型スーパーがない ・アピール不足 ・車がないと不便
- ・熊への恐怖 ・雪だるまをもっと押し出してほしい

●移住に当たっての不安

- ・冬の生活 ・仕事（雇用）の問題

安平町まちづくり町民アンケート 調査報告書



調査の概要

■ 調査目的

「安平町まちづくり基本条例」の理念に基づき、町民の皆様が町の現状(施策)に対してどの程度満足されているかや、将来のまちづくりに対しての考え方を反映させるために実施したものです。

■ 調査方法

【調査対象】 安平町内の全戸配布対象世帯に対し、1世帯につき1冊の調査票を配布した。

【配布方法】 令和7年7月号広報あびらの全戸配布に調査票を折り込んだ。
また、ホームページや各種SNSを活用した周知及び各種会議やイベントへ出張しPRや配布を実施した。

【回収方法】 調査票に同封した封筒による郵送またはオンラインにより回答いただいた。

【実施期間】 令和7年7月7日～8月6日

■ 回収結果

【配布数】 3,112世帯 (前回:3,840世帯、▲728世帯)

【回答数】 389世帯 (前回689世帯、▲300世帯)

【回収率】 12.5% (前回17.9%、▲5.4ポイント)

■ 調査項目

- (問1) 回答者の「性別」「年齢」「職業」「居住地」「居住歴」
- (問2) 安平町に住むようになった理由
- (問3) 安平町に対する現状の満足度、将来における重要度
- (問4) 今後の安平町に求める特色(まちづくり)
- (問5) 「望ましい姿」「目指すべき姿」「進むべき方向性」など事由記載



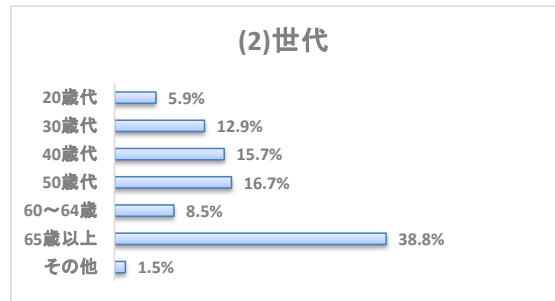
問1(1).あなたの性別は？

	件数	割合
1 男性	196人	50.4%
2 女性	173人	44.5%
0 その他	20人	5.1%
合計	389人	100.0%



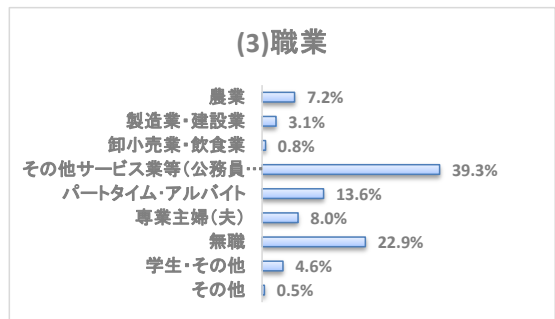
問1(2).あなたの年齢は？

	件数	割合
1 20歳代	23人	5.9%
2 30歳代	50人	12.9%
3 40歳代	61人	15.7%
4 50歳代	65人	16.7%
5 60～64歳	33人	8.5%
6 65歳以上	151人	38.8%
0 その他	6人	1.5%
合計	389人	100.0%



問1(3).あなたの職業は？

	件数	割合
1 農業	28人	7.2%
2 製造業・建設業	12人	3.1%
3 卸小売業・飲食業	3人	0.8%
4 その他サービス等(公務員を含む)	153人	39.3%
5 パートタイム・アルバイト	53人	13.6%
6 専業主婦(夫)	31人	8.0%
7 無職	89人	22.9%
8 学生・その他	18人	4.6%
0 その他	2人	0.5%
合計	389人	100.0%

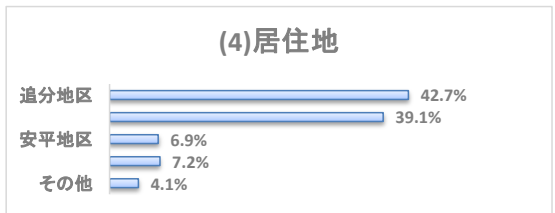


問1(4)

	件数	割合
① 3歳未満の乳幼児がいる	26人	6.7%
② 園児がいる	37人	9.5%
③ 小・中学生がいる	70人	18.0%
④ 高校生がいる	34人	8.7%
⑤ 大学生・専門学校生(短大・院生を含む)が	23人	5.9%
⑥ 上記以外の18～64歳までの方がいる(配偶	162人	41.6%
⑦ 65歳以上の高齢者がいる(配偶者を含む)	115人	29.6%
0 単身世帯	98人	25.2%
合計	565人	145.2%

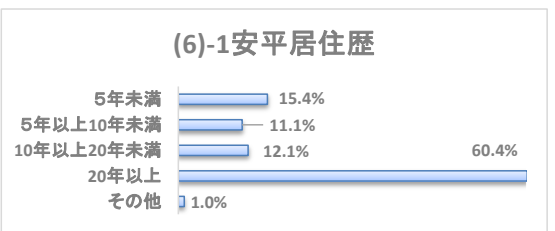
問1(5).あなたの居住地は？

	件数	割合
1 追分地区	166人	42.7%
2 早来地区	152人	39.1%
3 安平地区	27人	6.9%
4 遠浅地区	28人	7.2%
0 その他	16人	4.1%
合計	389人	100.0%



問1(6)-1.あなたの安平町での居住歴は？

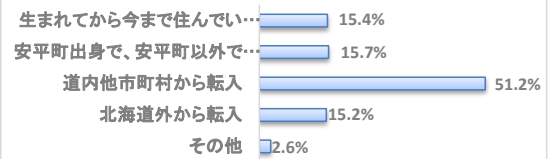
	件数	割合
1 5年未満	60人	15.4%
2 5年以上10年未満	43人	11.1%
3 10年以上20年未満	47人	12.1%
4 20年以上	235人	60.4%
0 その他	4人	1.0%
合計	389人	100.0%



問1(6)-2.あなたの安平町への居住の経過は？

		件数	割合
1	生まれてから今まで住んでいる。	60人	15.4%
2	安平町出身で、安平町以外で居住経験がある。	61人	15.7%
3	道内他市町村から転入	199人	51.2%
4	北海道外から転入	59人	15.2%
0	その他	10人	2.6%
	合計	389人	100.0%

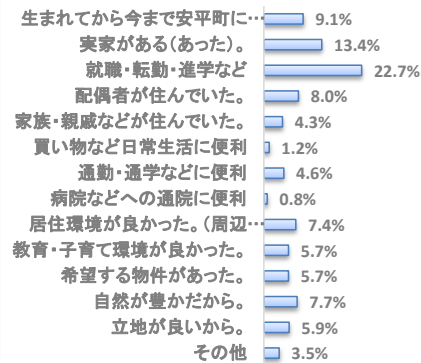
(6)-2安平来歴



問2.あなたが安平町に住むようになった理由は？

		件数	割合
1	生まれてから今まで安平町に住んでいる。	59人	9.1%
2	実家がある(あった)。	87人	13.4%
3	就職・転勤・進学など	147人	22.7%
4	配偶者が住んでいた。	52人	8.0%
5	家族・親戚などが住んでいた。	28人	4.3%
6	買い物など日常生活に便利	8人	1.2%
7	通勤・通学などに便利	30人	4.6%
8	病院などへの通院に便利	5人	0.8%
9	居住環境が良かった。(周辺環境など)	48人	7.4%
10	教育・子育て環境が良かった。	37人	5.7%
11	希望する物件があった。	37人	5.7%
12	自然が豊かだから。	50人	7.7%
13	立地が良いから。	38人	5.9%
14	その他	23人	3.5%
	合計	649人	100.0%

問2安平町居住理由



問2-2.その他のコメント内容

コメント内容	件数
1 空欄	3
2 結婚	3
3 小学校1年の時 父の転勤で江別から来ました。	1
4 地価が安く家を建てるのに条件が良かった	1
5 兄弟が追分に住んでいる	1
6 良く分からず来ました	1
7 憧れだけで	1
8 主人の職場からそこそこの距離で通えたため	1
9 半導体関連企業の誘致活動	1
10 追分の住民にあたたかい人が多かったから	1
11 交通の要所	1
12 土地が安かったため	1
13 介護	2
14 早来学園とはやきたこども園に子ども達を通わせたかった	1
15 家業を継ぐのに安平町に住むのが便利だから。	1
16 配偶者の再就職先	1
17 千歳・恵庭で土地を探していたが良い土地がなくエリアを広げて探し、千歳の会社へ通勤圏内であったため	1
18 戸建て購入を検討していた土地が安くかつ苫小牧と千歳にもアクセスしやすかったから	1

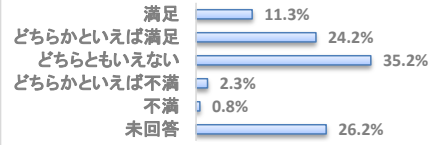
問3重要度・満足度調査

1. 子育て・教育分野

①子育て支援(妊娠出産・母子保健(健診・予防接種)・ひとり親支援など)の満足度

	件数	割合
1 満足	44人	11.3%
2 どちらかといえば満足	94人	24.2%
3 どちらともいえない	137人	35.2%
4 どちらかといえば不満	9人	2.3%
5 不満	3人	0.8%
0 未回答	102人	26.2%
合計	389人	100.0%

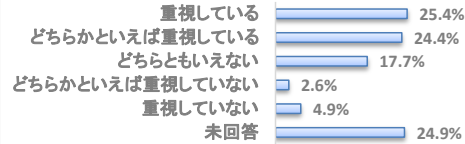
①子育て支援:満足度



①子育て支援(妊娠出産・母子保健(健診・予防接種)・ひとり親支援など)の重要度

	件数	割合
1 重視している	99人	25.4%
2 どちらかといえば重視している	95人	24.4%
3 どちらともいえない	69人	17.7%
4 どちらかといえば重視していない	10人	2.6%
5 重視していない	19人	4.9%
0 未回答	97人	24.9%
合計	389人	100.0%

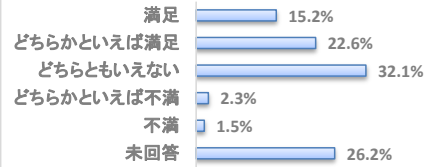
①子育て支援:重要度



②就学前教育(認定こども園・小規模保育事業所・遊び支援など)の満足度

	件数	割合
1 満足	59人	15.2%
2 どちらかといえば満足	88人	22.6%
3 どちらともいえない	125人	32.1%
4 どちらかといえば不満	9人	2.3%
5 不満	6人	1.5%
0 未回答	102人	26.2%
合計	389人	100.0%

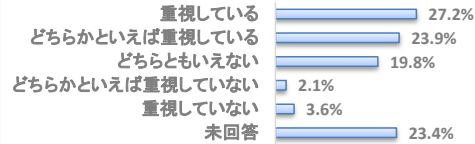
②就学前教育:満足度



②就学前教育(認定こども園・小規模保育事業所・遊び支援など)の重要度

	件数	割合
1 重視している	106人	27.2%
2 どちらかといえば重視している	93人	23.9%
3 どちらともいえない	77人	19.8%
4 どちらかといえば重視していない	8人	2.1%
5 重視していない	14人	3.6%
0 未回答	91人	23.4%
合計	389人	100.0%

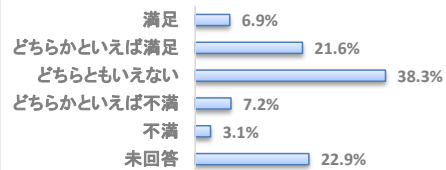
②就学前教育:重要度



③学校教育(学校における教育内容・教育施設の充実・学力体力向上など)の満足度

	件数	割合
1 満足	27人	6.9%
2 どちらかといえば満足	84人	21.6%
3 どちらともいえない	149人	38.3%
4 どちらかといえば不満	28人	7.2%
5 不満	12人	3.1%
0 未回答	89人	22.9%
合計	389人	100.0%

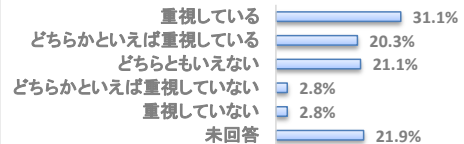
③学校教育:満足度



③学校教育(学校における教育内容・教育施設の充実・学力体力向上など)の重要度

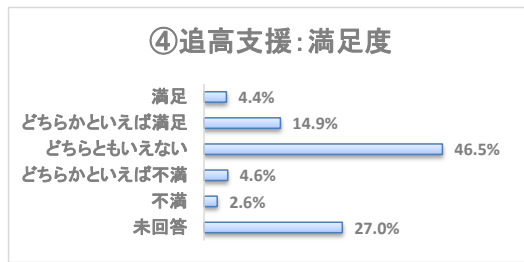
	件数	割合
1 重視している	121人	31.1%
2 どちらかといえば重視している	79人	20.3%
3 どちらともいえない	82人	21.1%
4 どちらかといえば重視していない	11人	2.8%
5 重視していない	11人	2.8%
0 未回答	85人	21.9%
合計	389人	100.0%

③学校教育:重要度



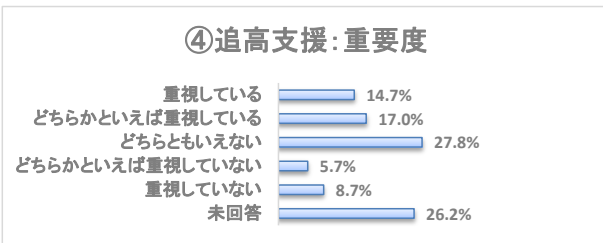
④追分高等学校支援(道立追分高校の存続支援など)の満足度

	件数	割合
1 満足	17人	4.4%
2 どちらかといえば満足	58人	14.9%
3 どちらともいえない	181人	46.5%
4 どちらかといえば不満	18人	4.6%
5 不満	10人	2.6%
0 未回答	105人	27.0%
合計	389人	100.0%



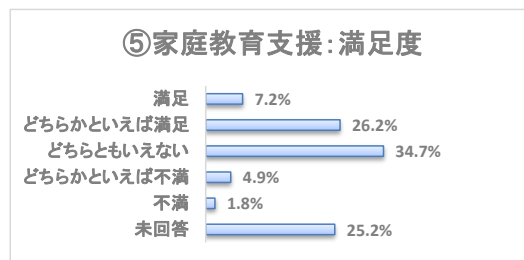
④追分高等学校支援(道立追分高校の存続支援など)の重要度

	件数	割合
1 重視している	57人	14.7%
2 どちらかといえば重視している	66人	17.0%
3 どちらともいえない	108人	27.8%
4 どちらかといえば重視していない	22人	5.7%
5 重視していない	34人	8.7%
0 未回答	102人	26.2%
合計	389人	100.0%



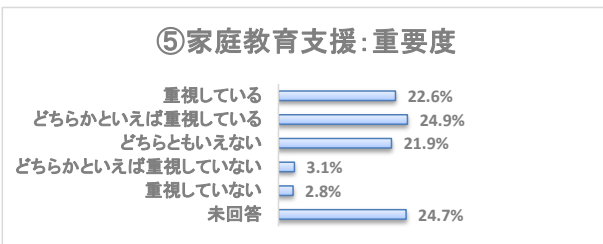
⑤家庭教育支援(児童館・放課後児童クラブなど)の満足度

	件数	割合
1 満足	28人	7.2%
2 どちらかといえば満足	102人	26.2%
3 どちらともいえない	135人	34.7%
4 どちらかといえば不満	19人	4.9%
5 不満	7人	1.8%
0 未回答	98人	25.2%
合計	389人	100.0%



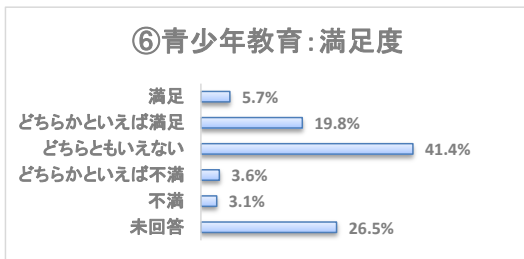
⑤家庭教育支援(児童館・放課後児童クラブなど)の重要度

	件数	割合
1 重視している	88人	22.6%
2 どちらかといえば重視している	97人	24.9%
3 どちらともいえない	85人	21.9%
4 どちらかといえば重視していない	12人	3.1%
5 重視していない	11人	2.8%
0 未回答	96人	24.7%
合計	389人	100.0%



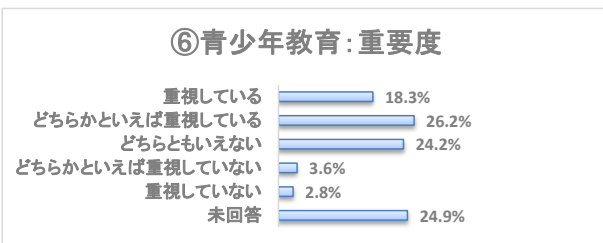
⑥青少年教育(ふるさと教育・文化/スポーツ活動など)の満足度

	件数	割合
1 満足	22人	5.7%
2 どちらかといえば満足	77人	19.8%
3 どちらともいえない	161人	41.4%
4 どちらかといえば不満	14人	3.6%
5 不満	12人	3.1%
0 未回答	103人	26.5%
合計	389人	100.0%



⑥青少年教育(ふるさと教育・文化/スポーツ活動など)の重要度

	件数	割合
1 重視している	71人	18.3%
2 どちらかといえば重視している	102人	26.2%
3 どちらともいえない	94人	24.2%
4 どちらかといえば重視していない	14人	3.6%
5 重視していない	11人	2.8%
0 未回答	97人	24.9%
合計	389人	100.0%

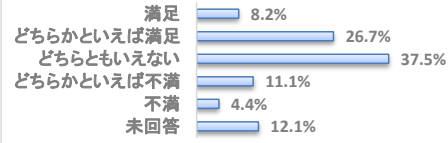


2. 人づくり・コミュニティ分野

①地域コミュニティ(自治会/町内会支援・まちづくり協議会(遠浅地区・安平地区)など)の満足度

	件数	割合
1 満足	32人	8.2%
2 どちらかといえば満足	104人	26.7%
3 どちらともいえない	146人	37.5%
4 どちらかといえば不満	43人	11.1%
5 不満	17人	4.4%
0 未回答	47人	12.1%
合計	389人	100.0%

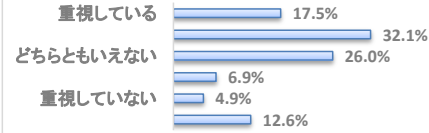
①地域コミュニティ: 満足度



①地域コミュニティ(自治会/町内会支援・まちづくり協議会(遠浅地区・安平地区)など)の重要度

	件数	割合
1 重視している	68人	17.5%
2 どちらかといえば重視している	125人	32.1%
3 どちらともいえない	101人	26.0%
4 どちらかといえば重視していない	27人	6.9%
5 重視していない	19人	4.9%
0 未回答	49人	12.6%
合計	389人	100.0%

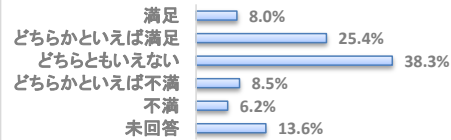
①地域コミュニティ: 重要度



②協働のまちづくり(まちづくり事業支援交付金・地域おこし協力隊制度の活用など)の満足度

	件数	割合
1 満足	31人	8.0%
2 どちらかといえば満足	99人	25.4%
3 どちらともいえない	149人	38.3%
4 どちらかといえば不満	33人	8.5%
5 不満	24人	6.2%
0 未回答	53人	13.6%
合計	389人	100.0%

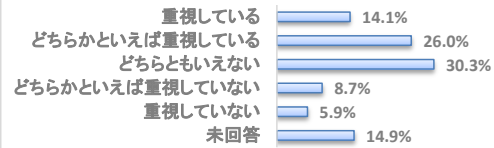
②協働のまちづくり: 満足度



②協働のまちづくり(まちづくり事業支援交付金・地域おこし協力隊制度の活用など)の重要度

	件数	割合
1 重視している	55人	14.1%
2 どちらかといえば重視している	101人	26.0%
3 どちらともいえない	118人	30.3%
4 どちらかといえば重視していない	34人	8.7%
5 重視していない	23人	5.9%
0 未回答	58人	14.9%
合計	389人	100.0%

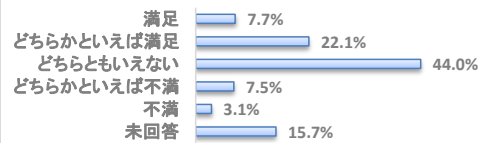
②協働のまちづくり: 重要度



③生涯学習・社会教育(あびら教育プラン・公民館事業・生涯学習フェスティバルなど)の満足度

	件数	割合
1 満足	30人	7.7%
2 どちらかといえば満足	86人	22.1%
3 どちらともいえない	171人	44.0%
4 どちらかといえば不満	29人	7.5%
5 不満	12人	3.1%
0 未回答	61人	15.7%
合計	389人	100.0%

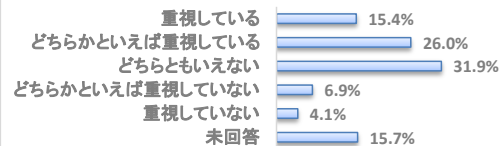
③生涯学習・社会教育: 満足度



③生涯学習・社会教育(あびら教育プラン・公民館事業・生涯学習フェスティバルなど)の重要度

	件数	割合
1 重視している	60人	15.4%
2 どちらかといえば重視している	101人	26.0%
3 どちらともいえない	124人	31.9%
4 どちらかといえば重視していない	27人	6.9%
5 重視していない	16人	4.1%
0 未回答	61人	15.7%
合計	389人	100.0%

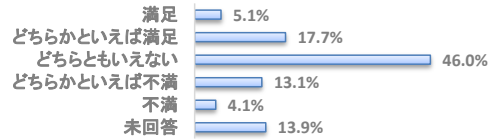
③生涯学習・社会教育: 重要度



④芸術・文化(芸術鑑賞会・郷土/鉄道資料館など)の満足度

	件数	割合
1 満足	20人	5.1%
2 どちらかといえば満足	69人	17.7%
3 どちらともいえない	179人	46.0%
4 どちらかといえば不満	51人	13.1%
5 不満	16人	4.1%
0 未回答	54人	13.9%
合計	389人	100.0%

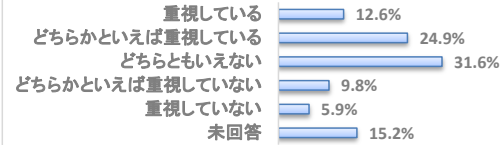
④芸術・文化:満足度



④芸術・文化(芸術鑑賞会・郷土/鉄道資料館など)の重要度

	件数	割合
1 重視している	49人	12.6%
2 どちらかといえば重視している	97人	24.9%
3 どちらともいえない	123人	31.6%
4 どちらかといえば重視していない	38人	9.8%
5 重視していない	23人	5.9%
0 未回答	59人	15.2%
合計	389人	100.0%

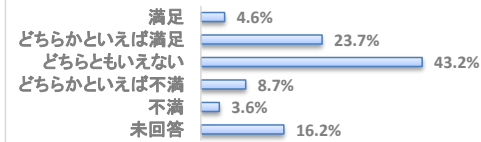
④芸術・文化:重要度



⑤スポーツ振興(生涯スポーツ活動・スポーツ団体支援など)の満足度

	件数	割合
1 満足	18人	4.6%
2 どちらかといえば満足	92人	23.7%
3 どちらともいえない	168人	43.2%
4 どちらかといえば不満	34人	8.7%
5 不満	14人	3.6%
0 未回答	63人	16.2%
合計	389人	100.0%

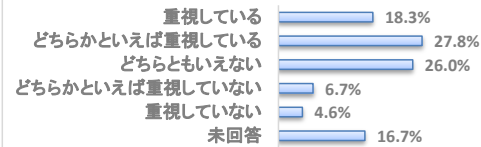
⑤スポーツ振興:満足度



⑤スポーツ振興(生涯スポーツ活動・スポーツ団体支援など)の重要度

	件数	割合
1 重視している	71人	18.3%
2 どちらかといえば重視している	108人	27.8%
3 どちらともいえない	101人	26.0%
4 どちらかといえば重視していない	26人	6.7%
5 重視していない	18人	4.6%
0 未回答	65人	16.7%
合計	389人	100.0%

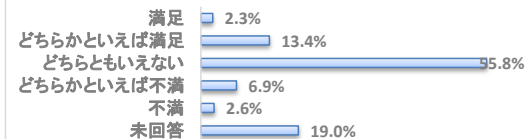
⑤スポーツ振興:重要度



⑥男女共同参画・人権(女性活躍・いじめ/虐待/ドメスティックバイオレンス防止)

	件数	割合
1 満足	9人	2.3%
2 どちらかといえば満足	52人	13.4%
3 どちらともいえない	217人	55.8%
4 どちらかといえば不満	27人	6.9%
5 不満	10人	2.6%
0 未回答	74人	19.0%
合計	389人	100.0%

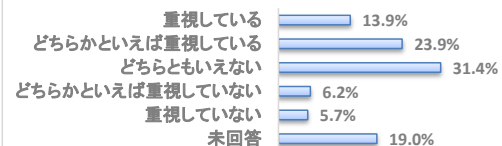
⑥男女共同・人権:満足度



⑥男女共同参画・人権(女性活躍・いじめ/虐待/ドメスティックバイオレンス防止)

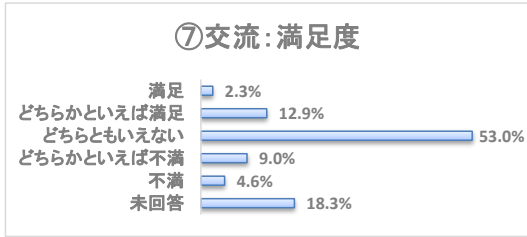
	件数	割合
1 重視している	54人	13.9%
2 どちらかといえば重視している	93人	23.9%
3 どちらともいえない	122人	31.4%
4 どちらかといえば重視していない	24人	6.2%
5 重視していない	22人	5.7%
0 未回答	74人	19.0%
合計	389人	100.0%

⑥男女共同・人権:重要度



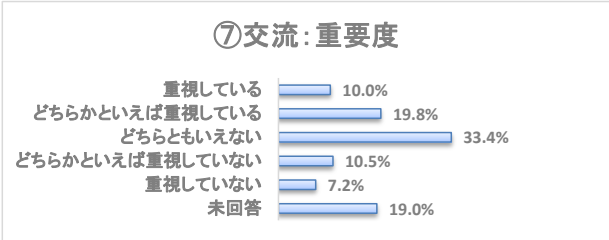
⑦交流(地域間交流・国際交流/国際理解など)の満足度

	件数	割合
1 満足	9人	2.3%
2 どちらかといえば満足	50人	12.9%
3 どちらともいえない	206人	53.0%
4 どちらかといえば不満	35人	9.0%
5 不満	18人	4.6%
0 未回答	71人	18.3%
合計	389人	100.0%



⑦交流(地域間交流・国際交流/国際理解など)の重要度

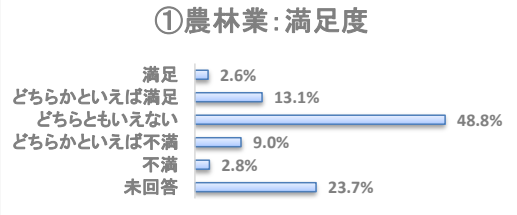
	件数	割合
1 重視している	39人	10.0%
2 どちらかといえば重視している	77人	19.8%
3 どちらともいえない	130人	33.4%
4 どちらかといえば重視していない	41人	10.5%
5 重視していない	28人	7.2%
0 未回答	74人	19.0%
合計	389人	100.0%



3. 経済・産業分野

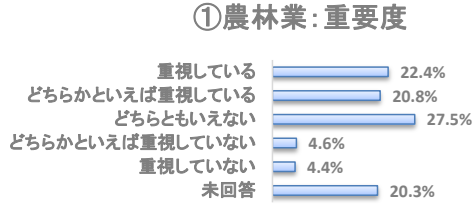
①農林業(持続可能な事業振興・経営強化など)の満足度

	件数	割合
1 満足	10人	2.6%
2 どちらかといえば満足	51人	13.1%
3 どちらともいえない	190人	48.8%
4 どちらかといえば不満	35人	9.0%
5 不満	11人	2.8%
0 未回答	92人	23.7%
合計	389人	100.0%



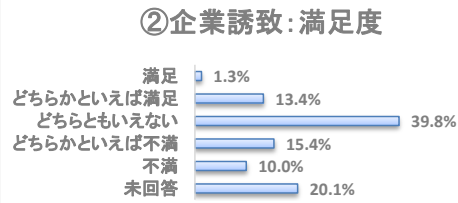
①農林業(持続可能な事業振興・経営強化など)の重要度

	件数	割合
1 重視している	87人	22.4%
2 どちらかといえば重視している	81人	20.8%
3 どちらともいえない	107人	27.5%
4 どちらかといえば重視していない	18人	4.6%
5 重視していない	17人	4.4%
0 未回答	79人	20.3%
合計	389人	100.0%



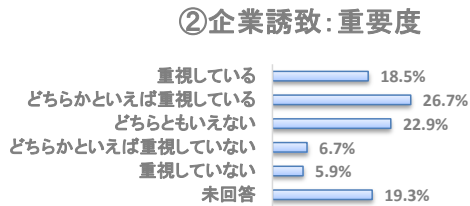
②企業誘致(立地企業支援・誘致活動など)の満足度

	件数	割合
1 満足	5人	1.3%
2 どちらかといえば満足	52人	13.4%
3 どちらともいえない	155人	39.8%
4 どちらかといえば不満	60人	15.4%
5 不満	39人	10.0%
0 未回答	78人	20.1%
合計	389人	100.0%



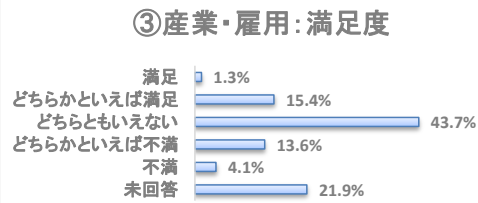
②企業誘致(立地企業支援・誘致活動など)の重要度

	件数	割合
1 重視している	72人	18.5%
2 どちらかといえば重視している	104人	26.7%
3 どちらともいえない	89人	22.9%
4 どちらかといえば重視していない	26人	6.7%
5 重視していない	23人	5.9%
0 未回答	75人	19.3%
合計	389人	100.0%



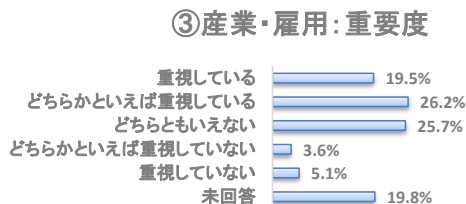
③産業振興・雇用就労(起業創業・就労支援・販路拡大など)の満足度

	件数	割合
1 満足	5人	1.3%
2 どちらかといえば満足	60人	15.4%
3 どちらともいえない	170人	43.7%
4 どちらかといえば不満	53人	13.6%
5 不満	16人	4.1%
0 未回答	85人	21.9%
合計	389人	100.0%



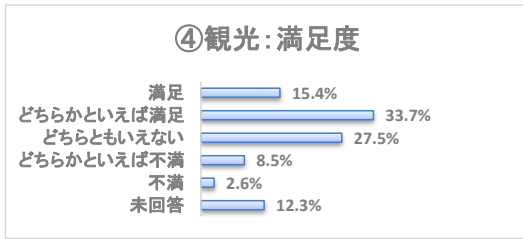
③産業振興・雇用就労(起業創業・就労支援・販路拡大など)の重要度

	件数	割合
1 重視している	76人	19.5%
2 どちらかといえば重視している	102人	26.2%
3 どちらともいえない	100人	25.7%
4 どちらかといえば重視していない	14人	3.6%
5 重視していない	20人	5.1%
0 未回答	77人	19.8%
合計	389人	100.0%



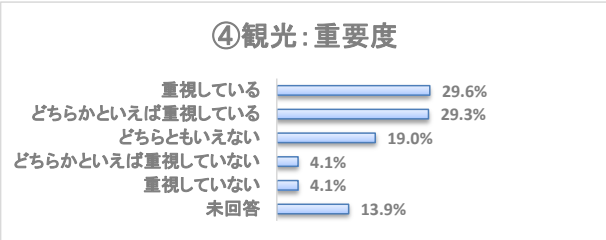
④観光(道の駅・合宿誘致・収穫体験など)の満足度

	件数	割合
1 満足	60人	15.4%
2 どちらかといえば満足	131人	33.7%
3 どちらともいえない	107人	27.5%
4 どちらかといえば不満	33人	8.5%
5 不満	10人	2.6%
0 未回答	48人	12.3%
合計	389人	100.0%



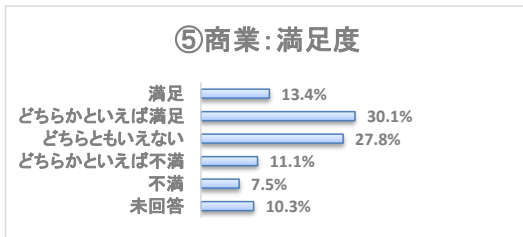
④観光(道の駅・合宿誘致・収穫体験など)の重要度

	件数	割合
1 重視している	115人	29.6%
2 どちらかといえば重視している	114人	29.3%
3 どちらともいえない	74人	19.0%
4 どちらかといえば重視していない	16人	4.1%
5 重視していない	16人	4.1%
0 未回答	54人	13.9%
合計	389人	100.0%



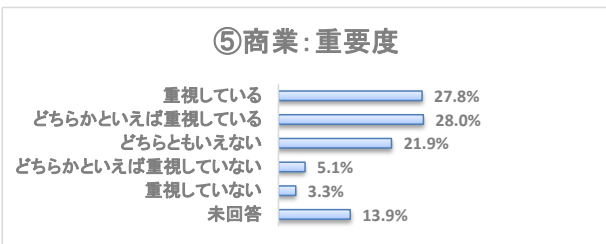
⑤商業(プレミアム商品券・事業継承・ポイントあびらなど)の満足度

	件数	割合
1 満足	52人	13.4%
2 どちらかといえば満足	117人	30.1%
3 どちらともいえない	108人	27.8%
4 どちらかといえば不満	43人	11.1%
5 不満	29人	7.5%
0 未回答	40人	10.3%
合計	389人	100.0%



⑤商業(プレミアム商品券・事業継承・ポイントあびらなど)の重要度

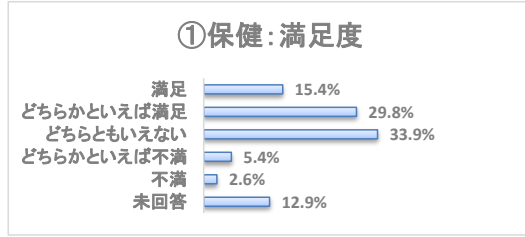
	件数	割合
1 重視している	108人	27.8%
2 どちらかといえば重視している	109人	28.0%
3 どちらともいえない	85人	21.9%
4 どちらかといえば重視していない	20人	5.1%
5 重視していない	13人	3.3%
0 未回答	54人	13.9%
合計	389人	100.0%



4. 健康・福祉分野

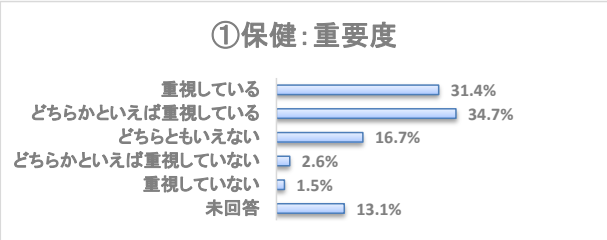
①保健(健康寿命延伸・健診/予防など)の満足度

	件数	割合
1 満足	60人	15.4%
2 どちらかといえば満足	116人	29.8%
3 どちらともいえない	132人	33.9%
4 どちらかといえば不満	21人	5.4%
5 不満	10人	2.6%
0 未回答	50人	12.9%
合計	389人	100.0%



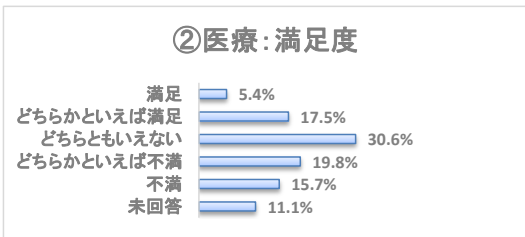
①保健(健康寿命延伸・健診/予防など)の重要度

	件数	割合
1 重視している	122人	31.4%
2 どちらかといえば重視している	135人	34.7%
3 どちらともいえない	65人	16.7%
4 どちらかといえば重視していない	10人	2.6%
5 重視していない	6人	1.5%
0 未回答	51人	13.1%
合計	389人	100.0%



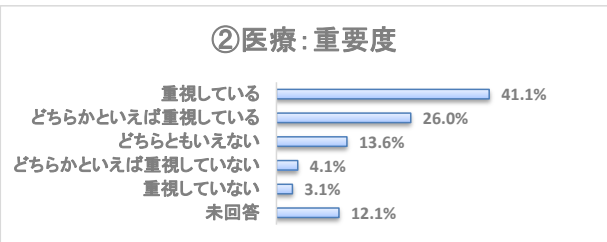
②医療(町内医療機関の確保・支援など)の満足度

	件数	割合
1 満足	21人	5.4%
2 どちらかといえば満足	68人	17.5%
3 どちらともいえない	119人	30.6%
4 どちらかといえば不満	77人	19.8%
5 不満	61人	15.7%
0 未回答	43人	11.1%
合計	389人	100.0%



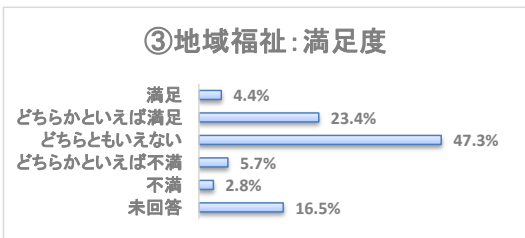
②医療(町内医療機関の確保・支援など)の重要度

	件数	割合
1 重視している	160人	41.1%
2 どちらかといえば重視している	101人	26.0%
3 どちらともいえない	53人	13.6%
4 どちらかといえば重視していない	16人	4.1%
5 重視していない	12人	3.1%
0 未回答	47人	12.1%
合計	389人	100.0%



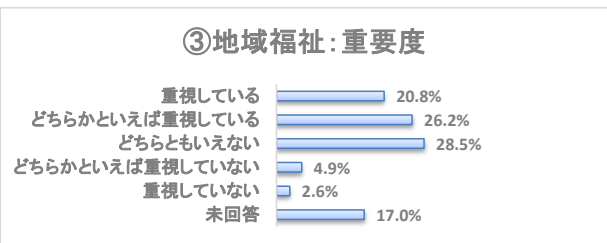
③地域福祉(見守りネットワーク・ボランティア活動支援など)の満足度

	件数	割合
1 満足	17人	4.4%
2 どちらかといえば満足	91人	23.4%
3 どちらともいえない	184人	47.3%
4 どちらかといえば不満	22人	5.7%
5 不満	11人	2.8%
0 未回答	64人	16.5%
合計	389人	100.0%



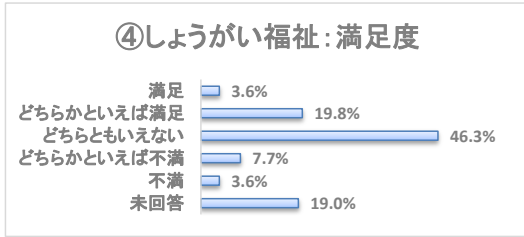
③地域福祉(見守りネットワーク・ボランティア活動支援など)の重要度

	件数	割合
1 重視している	81人	20.8%
2 どちらかといえば重視している	102人	26.2%
3 どちらともいえない	111人	28.5%
4 どちらかといえば重視していない	19人	4.9%
5 重視していない	10人	2.6%
0 未回答	66人	17.0%
合計	389人	100.0%



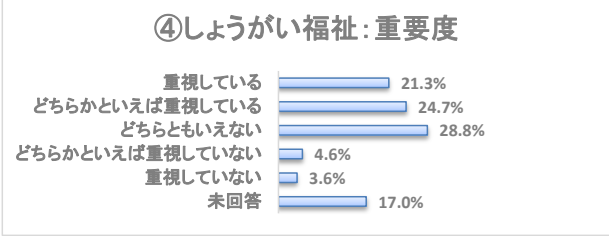
④しょうがい者福祉(福祉サービスの充実・共生社会の実現など)の満足度

	件数	割合
1 満足	14人	3.6%
2 どちらかといえば満足	77人	19.8%
3 どちらともいえない	180人	46.3%
4 どちらかといえば不満	30人	7.7%
5 不満	14人	3.6%
0 未回答	74人	19.0%
合計	389人	100.0%



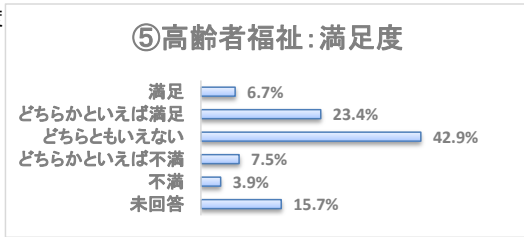
④しょうがい者福祉(福祉サービスの充実・共生社会の実現など)の重要度

	件数	割合
1 重視している	83人	21.3%
2 どちらかといえば重視している	96人	24.7%
3 どちらともいえない	112人	28.8%
4 どちらかといえば重視していない	18人	4.6%
5 重視していない	14人	3.6%
0 未回答	66人	17.0%
合計	389人	100.0%



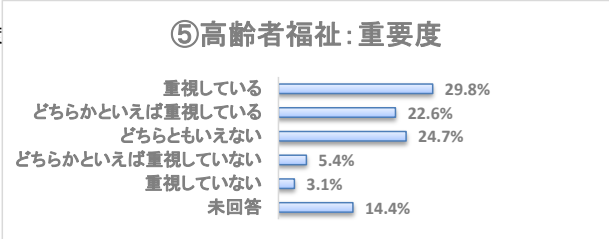
⑤高齢者福祉(介護サービス/予防の充実・高齢者施設の充実など)の満足度

	件数	割合
1 満足	26人	6.7%
2 どちらかといえば満足	91人	23.4%
3 どちらともいえない	167人	42.9%
4 どちらかといえば不満	29人	7.5%
5 不満	15人	3.9%
0 未回答	61人	15.7%
合計	389人	100.0%



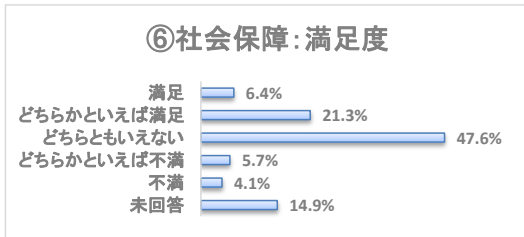
⑤高齢者福祉(介護サービス/予防の充実・高齢者施設の充実など)の重要度

	件数	割合
1 重視している	116人	29.8%
2 どちらかといえば重視している	88人	22.6%
3 どちらともいえない	96人	24.7%
4 どちらかといえば重視していない	21人	5.4%
5 重視していない	12人	3.1%
0 未回答	56人	14.4%
合計	389人	100.0%



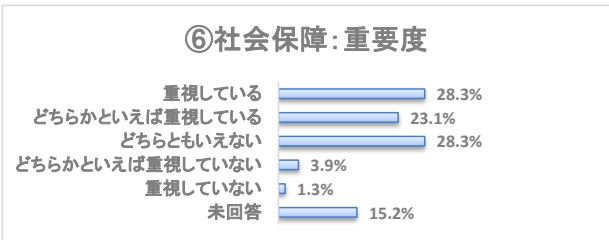
⑥社会保障(健康保険事業や介護保険事業の適正な運営など)の満足度

	件数	割合
1 満足	25人	6.4%
2 どちらかといえば満足	83人	21.3%
3 どちらともいえない	185人	47.6%
4 どちらかといえば不満	22人	5.7%
5 不満	16人	4.1%
0 未回答	58人	14.9%
合計	389人	100.0%



⑥社会保障(健康保険事業や介護保険事業の適正な運営など)の重要度

	件数	割合
1 重視している	110人	28.3%
2 どちらかといえば重視している	90人	23.1%
3 どちらともいえない	110人	28.3%
4 どちらかといえば重視していない	15人	3.9%
5 重視していない	5人	1.3%
0 未回答	59人	15.2%
合計	389人	100.0%

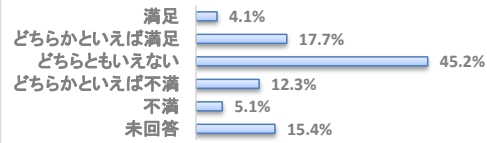


5. 生活環境・生活基盤分野

①環境・景観保全(地球温暖化対策・公害防止など)の満足度

	件数	割合
1 満足	16人	4.1%
2 どちらかといえば満足	69人	17.7%
3 どちらともいえない	176人	45.2%
4 どちらかといえば不満	48人	12.3%
5 不満	20人	5.1%
0 未回答	60人	15.4%
合計	389人	100.0%

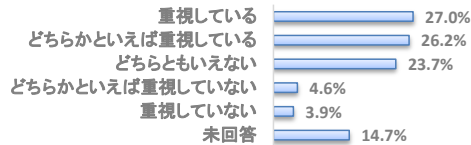
①環境・景観：満足度



①環境・景観保全(地球温暖化対策・公害防止など)の重要度

	件数	割合
1 重視している	105人	27.0%
2 どちらかといえば重視している	102人	26.2%
3 どちらともいえない	92人	23.7%
4 どちらかといえば重視していない	18人	4.6%
5 重視していない	15人	3.9%
0 未回答	57人	14.7%
合計	389人	100.0%

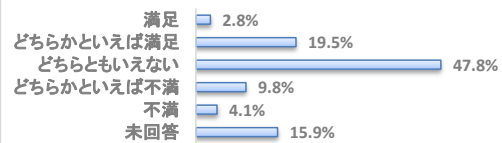
①環境・景観：重要度



②循環型社会(再生エネルギーの活用・資源リサイクルの促進など)の満足度

	件数	割合
1 満足	11人	2.8%
2 どちらかといえば満足	76人	19.5%
3 どちらともいえない	186人	47.8%
4 どちらかといえば不満	38人	9.8%
5 不満	16人	4.1%
0 未回答	62人	15.9%
合計	389人	100.0%

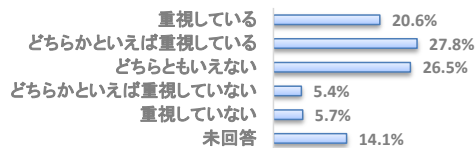
②循環型社会：満足度



②循環型社会(再生エネルギーの活用・資源リサイクルの促進など)の重要度

	件数	割合
1 重視している	80人	20.6%
2 どちらかといえば重視している	108人	27.8%
3 どちらともいえない	103人	26.5%
4 どちらかといえば重視していない	21人	5.4%
5 重視していない	22人	5.7%
0 未回答	55人	14.1%
合計	389人	100.0%

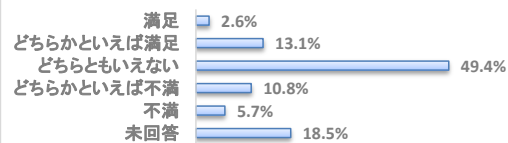
②循環型社会：重要度



③土地利用(自然を活かした滞在(グリーンツーリズム)など)の満足度

	件数	割合
1 満足	10人	2.6%
2 どちらかといえば満足	51人	13.1%
3 どちらともいえない	192人	49.4%
4 どちらかといえば不満	42人	10.8%
5 不満	22人	5.7%
0 未回答	72人	18.5%
合計	389人	100.0%

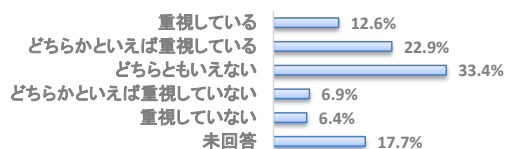
③土地利用：満足度



③土地利用(自然を活かした滞在(グリーンツーリズム)など)の重要度

	件数	割合
1 重視している	49人	12.6%
2 どちらかといえば重視している	89人	22.9%
3 どちらともいえない	130人	33.4%
4 どちらかといえば重視していない	27人	6.9%
5 重視していない	25人	6.4%
0 未回答	69人	17.7%
合計	389人	100.0%

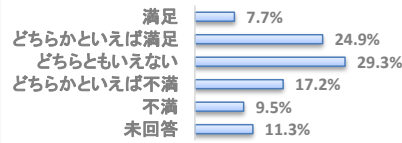
③土地利用：重要度



④生活インフラ(道路・上/下水道・情報通信など)の満足度

	件数	割合
1 満足	30人	7.7%
2 どちらかといえば満足	97人	24.9%
3 どちらともいえない	114人	29.3%
4 どちらかといえば不満	67人	17.2%
5 不満	37人	9.5%
0 未回答	44人	11.3%
合計	389人	100.0%

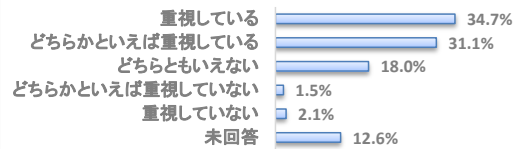
④生活インフラ:満足度



④生活インフラ(道路・上/下水道・情報通信など)の重要度

	件数	割合
1 重視している	135人	34.7%
2 どちらかといえば重視している	121人	31.1%
3 どちらともいえない	70人	18.0%
4 どちらかといえば重視していない	6人	1.5%
5 重視していない	8人	2.1%
0 未回答	49人	12.6%
合計	389人	100.0%

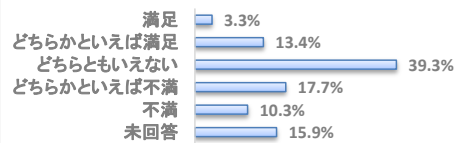
④生活インフラ:重要度



⑤住環境整備(宅地分譲・空き家対策・民間アパート建設助成など)の満足度

	件数	割合
1 満足	13人	3.3%
2 どちらかといえば満足	52人	13.4%
3 どちらともいえない	153人	39.3%
4 どちらかといえば不満	69人	17.7%
5 不満	40人	10.3%
0 未回答	62人	15.9%
合計	389人	100.0%

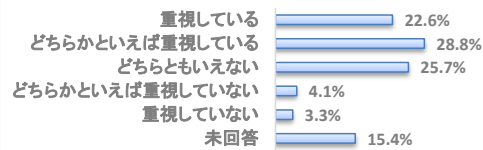
⑤住環境整備:満足度



⑤住環境整備(宅地分譲・空き家対策・民間アパート建設助成など)の重要度

	件数	割合
1 重視している	88人	22.6%
2 どちらかといえば重視している	112人	28.8%
3 どちらともいえない	100人	25.7%
4 どちらかといえば重視していない	16人	4.1%
5 重視していない	13人	3.3%
0 未回答	60人	15.4%
合計	389人	100.0%

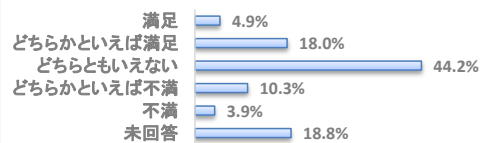
⑤住環境整備:重要度



⑥移住・定住対策(移住者支援・おためし暮らし住宅の提供など)の満足度

	件数	割合
1 満足	19人	4.9%
2 どちらかといえば満足	70人	18.0%
3 どちらともいえない	172人	44.2%
4 どちらかといえば不満	40人	10.3%
5 不満	15人	3.9%
0 未回答	73人	18.8%
合計	389人	100.0%

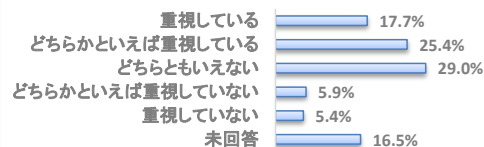
⑥移住・定住:満足度



⑥移住・定住対策(移住者支援・おためし暮らし住宅の提供など)の重要度

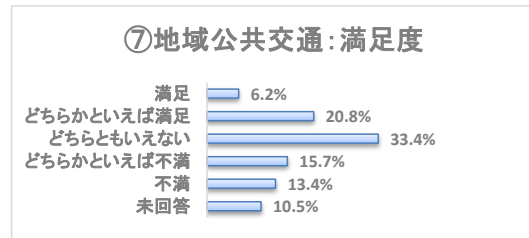
	件数	割合
1 重視している	69人	17.7%
2 どちらかといえば重視している	99人	25.4%
3 どちらともいえない	113人	29.0%
4 どちらかといえば重視していない	23人	5.9%
5 重視していない	21人	5.4%
0 未回答	64人	16.5%
合計	389人	100.0%

⑥移住・定住:重要度



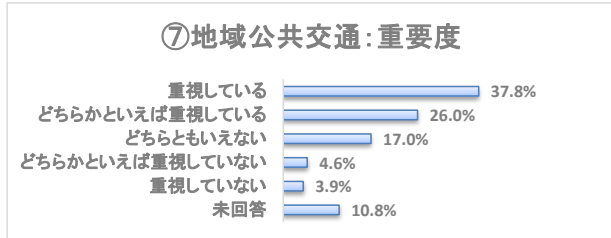
⑦地域公共交通(JR存続支援・デマンド/循環バス事業・ハイヤー事業者支援など)の満足度

	件数	割合
1 満足	24人	6.2%
2 どちらかといえば満足	81人	20.8%
3 どちらともいえない	130人	33.4%
4 どちらかといえば不満	61人	15.7%
5 不満	52人	13.4%
0 未回答	41人	10.5%
合計	389人	100.0%



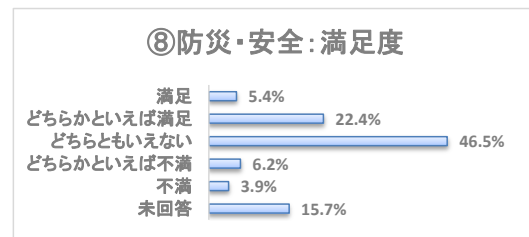
⑦地域公共交通(JR存続支援・デマンド/循環バス事業・ハイヤー事業者支援など)の重要度

	件数	割合
1 重視している	147人	37.8%
2 どちらかといえば重視している	101人	26.0%
3 どちらともいえない	66人	17.0%
4 どちらかといえば重視していない	18人	4.6%
5 重視していない	15人	3.9%
0 未回答	42人	10.8%
合計	389人	100.0%



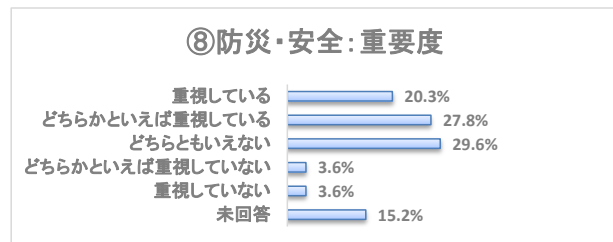
⑧消防防災・交通安全・消費生活(自主防災組織・犯罪予防など)の満足度

	件数	割合
1 満足	21人	5.4%
2 どちらかといえば満足	87人	22.4%
3 どちらともいえない	181人	46.5%
4 どちらかといえば不満	24人	6.2%
5 不満	15人	3.9%
0 未回答	61人	15.7%
合計	389人	100.0%



⑧消防防災・交通安全・消費生活(自主防災組織・犯罪予防など)の重要度

	件数	割合
1 重視している	79人	20.3%
2 どちらかといえば重視している	108人	27.8%
3 どちらともいえない	115人	29.6%
4 どちらかといえば重視していない	14人	3.6%
5 重視していない	14人	3.6%
0 未回答	59人	15.2%
合計	389人	100.0%

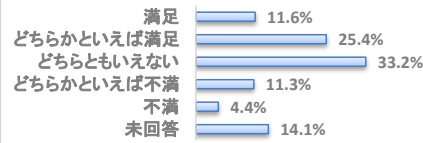


6. 行財政運営分野

①情報発信(知名度向上・あびらチャンネルなど)の満足度

	件数	割合
1 満足	45人	11.6%
2 どちらかといえば満足	99人	25.4%
3 どちらともいえない	129人	33.2%
4 どちらかといえば不満	44人	11.3%
5 不満	17人	4.4%
0 未回答	55人	14.1%
合計	389人	100.0%

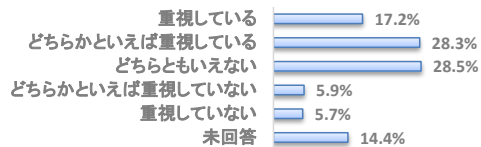
①情報発信:満足度



①情報発信(知名度向上・あびらチャンネルなど)の重要度

	件数	割合
1 重視している	67人	17.2%
2 どちらかといえば重視している	110人	28.3%
3 どちらともいえない	111人	28.5%
4 どちらかといえば重視していない	23人	5.9%
5 重視していない	22人	5.7%
0 未回答	56人	14.4%
合計	389人	100.0%

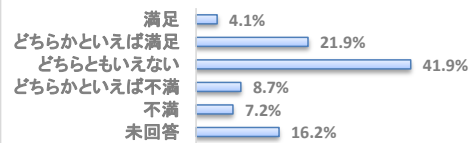
①情報発信:重要度



②住民サービス(町民参画の推進・町職員の育成・地域サポート制度など)の満足度

	件数	割合
1 満足	16人	4.1%
2 どちらかといえば満足	85人	21.9%
3 どちらともいえない	163人	41.9%
4 どちらかといえば不満	34人	8.7%
5 不満	28人	7.2%
0 未回答	63人	16.2%
合計	389人	100.0%

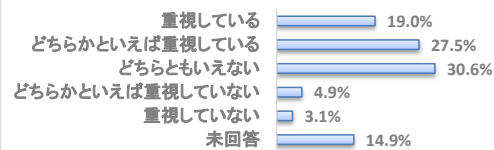
②住民サービス:満足度



②住民サービス(町民参画の推進・町職員の育成・地域サポート制度など)の重要度

	件数	割合
1 重視している	74人	19.0%
2 どちらかといえば重視している	107人	27.5%
3 どちらともいえない	119人	30.6%
4 どちらかといえば重視していない	19人	4.9%
5 重視していない	12人	3.1%
0 未回答	58人	14.9%
合計	389人	100.0%

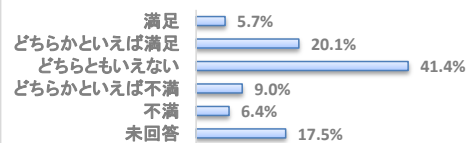
②住民サービス:重要度



③行財政運営(町財政の健全化・行政手続きの電子化・施設統廃合など)の満足度

	件数	割合
1 満足	22人	5.7%
2 どちらかといえば満足	78人	20.1%
3 どちらともいえない	161人	41.4%
4 どちらかといえば不満	35人	9.0%
5 不満	25人	6.4%
0 未回答	68人	17.5%
合計	389人	100.0%

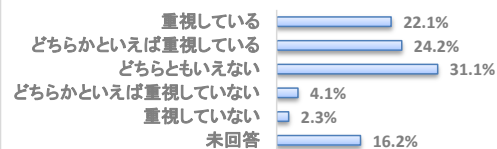
③行財政運営:満足度



③行財政運営(町財政の健全化・行政手続きの電子化・施設統廃合など)の重要度

	件数	割合
1 重視している	86人	22.1%
2 どちらかといえば重視している	94人	24.2%
3 どちらともいえない	121人	31.1%
4 どちらかといえば重視していない	16人	4.1%
5 重視していない	9人	2.3%
0 未回答	63人	16.2%
合計	389人	100.0%

③行財政運営:重要度



1 子育て・教育分野

項目	今回(A)		前回(B)		差(A-B)	
	満足度	重要度	満足度	重要度	満足度	重要度
子育て支援	↑ 3.58	↑ 3.84	↑ 3.28	⇒ 3.88	⇒ 0.30	⇒ -0.04
就学前教育	↑ 3.64	↑ 3.90	↑ 3.28	⇒ 3.88	⇒ 0.36	⇒ 0.02
学校教育	⇒ 3.29	↑ 3.95	↑ 3.69	↑ 4.07	↓ -0.40	⇒ -0.12
追分高等学校支援	⇒ 3.19	↓ 3.31	⇒ 3.15	↓ 3.48	↓ 0.04	⇒ -0.17
家庭教育支援	↑ 3.43	↑ 3.82	—	—	#VALUE!	#VALUE!
青少年教育	⇒ 3.29	⇒ 3.71	—	—	#VALUE!	#VALUE!
平均	↑ 3.40	⇒ 3.76	↑ 3.35	⇒ 3.83	⇒ 0.05	⇒ -0.07

2 人づくり・コミュニティ分野

項目	今回(A)		前回(B)		差(A-B)	
	満足度	重要度	満足度	重要度	満足度	重要度
地域コミュニティ	⇒ 3.27	⇒ 3.58	↑ 3.26	↓ 3.53	↓ 0.01	↑ 0.05
協働のまちづくり	⇒ 3.24	↓ 3.40	⇒ 3.14	↓ 3.37	⇒ 0.10	⇒ 0.03
生涯学習・社会教育	⇒ 3.28	⇒ 3.49	⇒ 3.18	⇒ 3.65	⇒ 0.10	⇒ -0.16
芸術文化	⇒ 3.08	↓ 3.34	⇒ 3.18	⇒ 3.65	↓ -0.10	↓ -0.31
スポーツ振興	⇒ 3.20	⇒ 3.58	⇒ 3.18	⇒ 3.65	↓ 0.02	⇒ -0.07
男女共同参画(人権)	⇒ 3.07	↓ 3.42	⇒ 3.09	↓ 3.47	↓ -0.02	⇒ -0.05
交流	↓ 2.99	↓ 3.18	⇒ 3.09	↓ 3.33	↓ -0.10	⇒ -0.15
平均	⇒ 3.16	↓ 3.43	⇒ 3.16	↓ 3.52	↓ 0.00	⇒ -0.09

3 経済・産業分野

項目	今回(A)		前回(B)		差(A-B)	
	満足度	重要度	満足度	重要度	満足度	重要度
農林業	⇒ 3.05	⇒ 3.65	⇒ 2.98	↓ 3.54	⇒ 0.07	↑ 0.11
企業誘致	↓ 2.76	⇒ 3.56	⇒ 2.72	⇒ 3.72	↓ 0.04	⇒ -0.16
産業振興・雇用就労	↓ 2.95	⇒ 3.64	↓ 2.64	⇒ 3.73	⇒ 0.31	⇒ -0.09
観光	↑ 3.58	↑ 3.88	↓ 2.58	⇒ 3.66	↑ 1.00	↑ 0.22
商業	⇒ 3.34	↑ 3.83	↓ 2.23	↑ 3.98	↑ 1.11	⇒ -0.15
平均	⇒ 3.14	⇒ 3.71	↓ 2.63	⇒ 3.73	⇒ 0.51	⇒ -0.01

4 健康・福祉分野

項目	今回(A)		前回(B)		差(A-B)	
	満足度	重要度	満足度	重要度	満足度	重要度
保健	↑ 3.58	↑ 4.06	↑ 3.69	↑ 4.07	↓ -0.11	⇒ -0.01
医療	↓ 2.74	↑ 4.11	⇒ 2.82	↑ 4.26	↓ -0.08	⇒ -0.15
地域福祉	⇒ 3.25	⇒ 3.70	↑ 3.25	⇒ 3.81	↓ 0.00	⇒ -0.11
しょうがい福祉	⇒ 3.15	⇒ 3.67	⇒ 3.13	⇒ 3.78	↓ 0.02	⇒ -0.11
高齢者福祉	⇒ 3.26	↑ 3.83	⇒ 3.13	↑ 4.00	⇒ 0.13	⇒ -0.17
社会保障	⇒ 3.24	↑ 3.86	⇒ 3.12	↑ 4.00	⇒ 0.12	⇒ -0.14
平均	⇒ 3.20	↑ 3.87	⇒ 3.19	↑ 3.99	↓ 0.01	⇒ -0.12

5 生活環境・生活基盤分野

項目	今回(A)		前回(B)		差(A-B)	
	満足度	重要度	満足度	重要度	満足度	重要度
環境・景観保全	↓ 3.04	⇒ 3.80	↑ 3.52	↑ 3.97	↓ -0.48	⇒ -0.17
循環型社会	⇒ 3.09	⇒ 3.61	⇒ 2.77	⇒ 3.65	⇒ 0.32	⇒ -0.04
土地利用	↓ 2.95	↓ 3.34	↑ 3.21	⇒ 3.87	↓ -0.26	↓ -0.53
生活インフラ	⇒ 3.05	↑ 4.09	⇒ 3.51	⇒ 3.76	↓ -0.46	↑ 0.33
住環境整備	↓ 2.78	⇒ 3.75	⇒ 3.08	↓ 3.56	↓ -0.30	↑ 0.19
移住・定住対策	⇒ 3.12	⇒ 3.53	—	—	#VALUE!	#VALUE!
地域公共交通	↓ 2.90	↑ 4.00	↓ 2.46	↑ 4.13	⇒ 0.44	⇒ -0.13
消防防災・交通安全・消費生活	⇒ 3.23	⇒ 3.68	↑ 3.43	↑ 4.05	↓ -0.20	↓ -0.37
平均	↓ 3.02	⇒ 3.72	⇒ 3.14	⇒ 3.86	↓ -0.12	⇒ -0.13

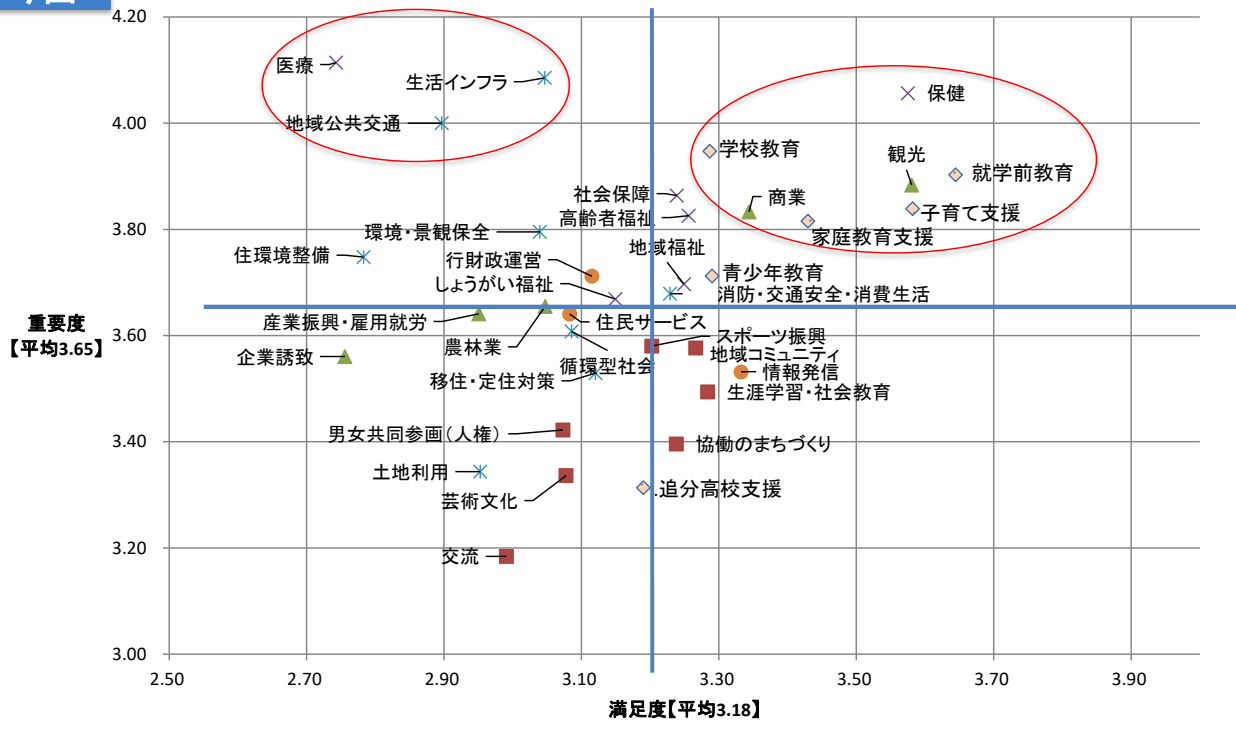
6 行財政運営分野

項目	今回(A)		前回(B)		差(A-B)	
	満足度	重要度	満足度	重要度	満足度	重要度
情報発信	⇒ 3.33	⇒ 3.53	—	—	#VALUE!	#VALUE!
住民サービス	⇒ 3.08	⇒ 3.64	⇒ 3.19	↓ 3.46	↓ -0.11	↑ 0.18
行財政運営	⇒ 3.12	⇒ 3.71	⇒ 2.98	⇒ 3.79	⇒ 0.14	⇒ -0.08
平均	⇒ 3.18	⇒ 3.63	⇒ 3.09	↓ 3.63	⇒ 0.09	⇒ 0.00

全体平均	⇒ 3.18	⇒ 3.65	⇒ 3.07	⇒ 3.71	⇒ 0.11	⇒ -0.06
------	--------	--------	--------	--------	--------	---------

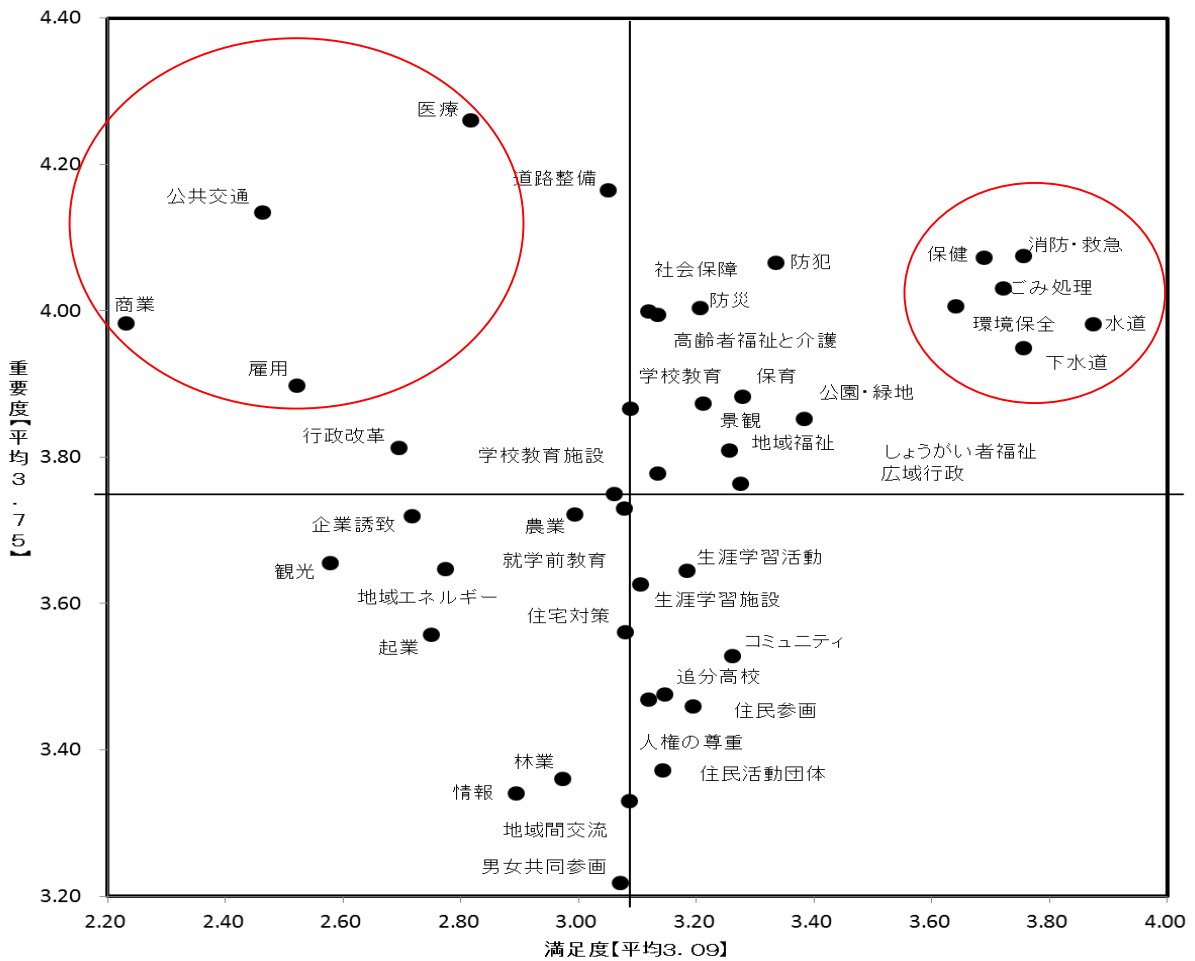
今回

政策満足度と将来重要度_プロット図

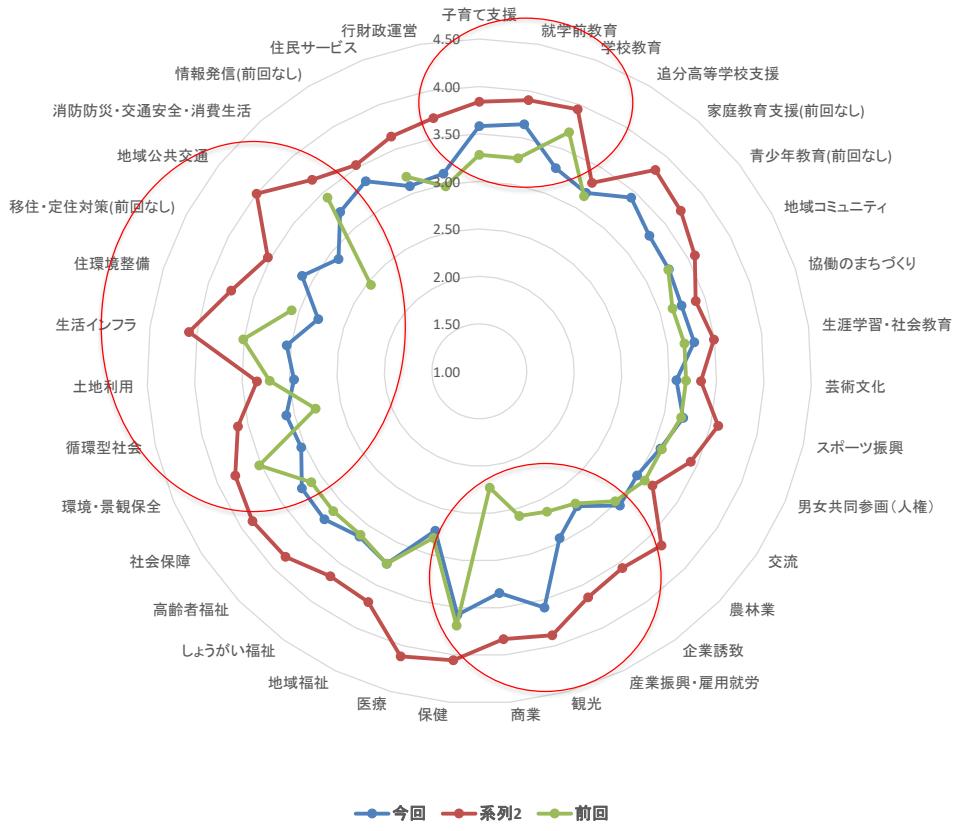


前回

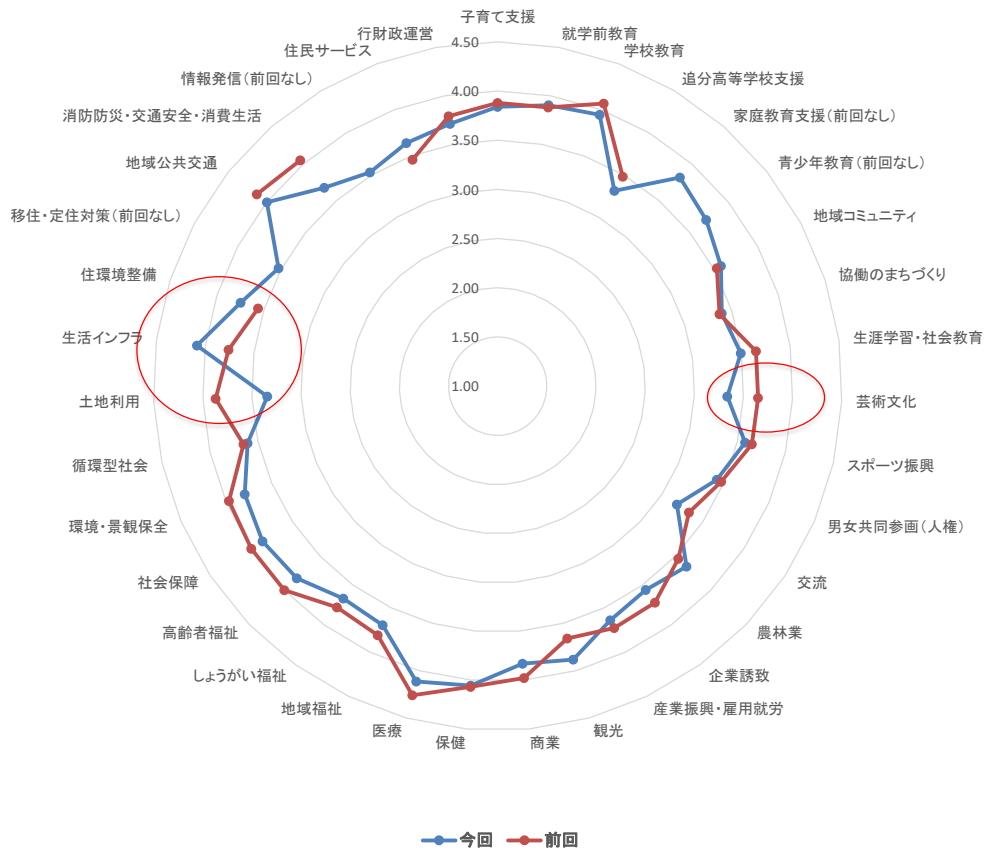
政策満足度と将来重要度 (全年齢合計プロット図)



満足度:比較表

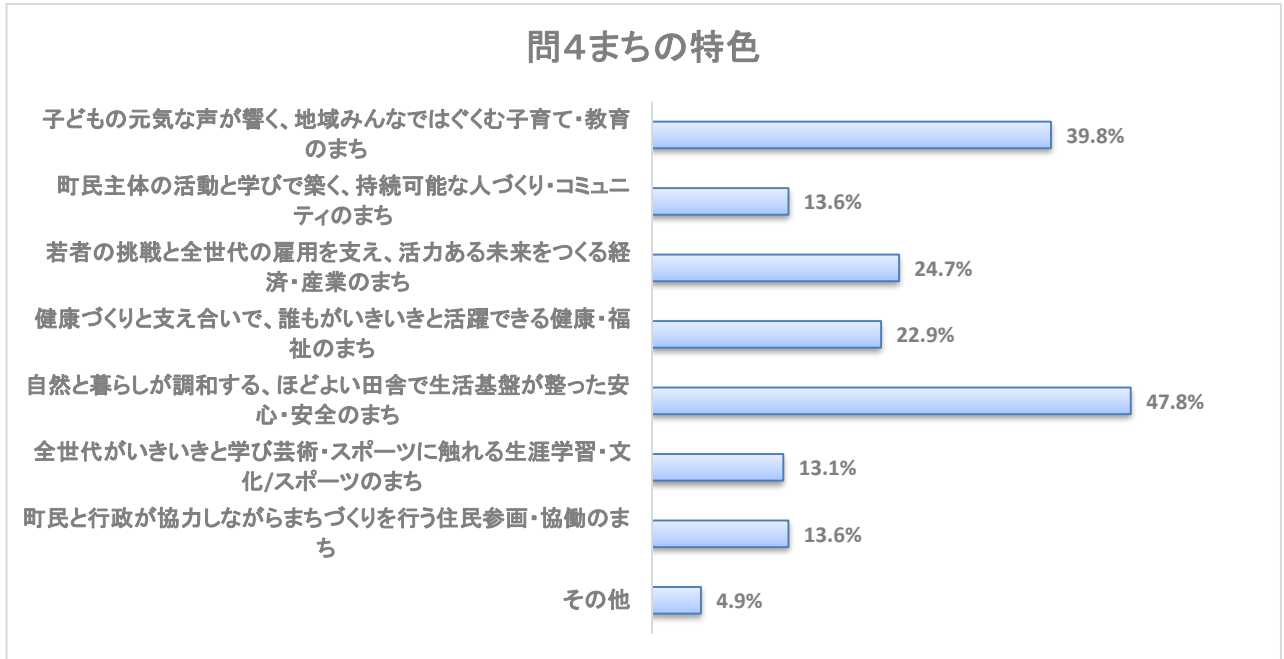


重要度:比較表



問4

		件数	割合
1	子どもの元気な声が響く、地域みんなではぐむ子育て・教育のまち	155人	39.8%
2	町民主体の活動と学びで築く、持続可能な人づくり・コミュニティのまち	53人	13.6%
3	若者の挑戦と全世代の雇用を支え、活力ある未来をつくる経済・産業のまち	96人	24.7%
4	健康づくりと支え合いで、誰もがいきいきと活躍できる健康・福祉のまち	89人	22.9%
5	自然と暮らしが調和する、ほどよい田舎で生活基盤が整った安心・安全のまち	186人	47.8%
6	全世代がいきいきと学び芸術・スポーツに触れる生涯学習・文化/スポーツのまち	51人	13.1%
7	町民と行政が協力しながらまちづくりを行う住民参画・協働のまち	53人	13.6%
8	その他	19人	4.9%
	合計	702人	180.5%



問4.その他のコメント内容

1	高齢化の進む中病院通い、日常の買い物に行きたくなる交通事情を良くして欲しい
2	自治体、自治会に調和すること一つもない。
3	食とエネルギーを地域で循環することで環境にやさしいまち かつ 強いまち。オーガニックビレッジの取扱を広める。
4	やっぱりここが良い！！と思う町
5	スーパーが有るといいですね
6	田舎特有の無駄な地域コミュニティ無くし、誰でも気楽に住むことができ、最低限の行政サービスの整った、自分の住環境は自分で整える自立した町民が集まるまち
7	どれも当てはまりません
8	千歳市内へのアクセスが便利なベッドタウンの街
9	車道、歩道が安全な町
10	建物商業施設にあふれた町
11	自然と歴史を楽しめるまち

町民まちづくりアンケート（自由記載欄）ご意見__まとめ

問5.自由記載欄いただいたご意見について、カテゴリ別に整理してまとめました。

まちづくり全般

政策的提案

全般的取り組みの方向性

- 移住者・新規事業だけでなく、既存住民にも実感できる取組の充実と見える化
- 一部ターゲットに偏った施策ではなく、課題解決につながる設計かどうかを丁寧に検討する。
- 移住 PR よりも、まずは今住む町民の満足度を高めるという考え方
- 人口減少を前提に、これまでと異なるやり方へ転換していく姿勢

人口・産業・定住の方向性

- 立地の強み（千歳・苫小牧・札幌への近さ）を活かした企業誘致・人口増、産業振興
- 外部環境の変化（例：半導体関連の動き等）を、地域の機会として活用する視点
- 移住 PR の強化と、移住→定住→永住につながる産業・交通・生活基盤の整備

暮らしの安心基盤（医療・福祉・交通など）

- 医療・金融・交通など、安心して暮らすための基盤サービスの充実
- 医療・福祉の方向性を分かりやすく示し、全世代が住み続けたいと思える体制へ。
- 健康で長生きするための介護予防を充実し、教育と併せて“まちの両輪”として位置づける視点
- 若い世代が住みやすく、生活しやすい環境整備を進める。

住民参画・共創とつながり（コミュニティ）

- 住民参画は“意見収集→行政が計画提示”に留まらず、住民の企画や主体的な取組を行政が支える形も重ねる。
- 小さなイベントや交流の場を各地域で継続し、世代を超えて集まりやすい文化として育てる。
- 自治会等を核に、移住者も含めた交流・連携を深め、住み良い地域づくり
- コロナ禍以降のコミュニケーションの希薄化を踏まえ、つながりの回復を意識する。
- 住民同士の関係は“遠すぎず近すぎず”の程よい距離感を大切にする。
- 小さな町だからこそ、得意を持ち寄って助け合える関係性を保つ。

多様性・共生（世代・国籍など）

- 高齢者への思いやりや配慮が行き届く環境づくり
- 外国人住民の増加を見据えた生活支援と、暮らしのルール・受入側の役割の整理
- 若い世代への投資と、年配世代の協力を得た世代間交流の拡大

地域間バランスと機能配置

- 地域間（早来・追分・遠浅・安平）のバランスを意識した町づくり
→ 他方、機能配置（集約／分散）については意見が分かれており、将来の持続性も踏まえた検討の必要性
- 施設の統廃合・再配置を、将来負担も見据えて進める。

まちの将来像

- 教育を軸にしつつも、働く世代・中高年層にとっての魅力（暮らし・仕事・楽しみ）も広げる視点
→ 子育て・教育を柱にした取組を継続しつつ、時代に合わせてアップデート
- “明るい未来が見える”政策の打ち出しと、町民が前向きになれるストーリーづくり
- 若者の出会いの機会をつくる視点
- 新しい技術（例：自動運転等）の導入可能性も含め、挑戦を後押しする姿勢
- 新しいことを始める人への応援・支援を強める。
- 未来の子どもたちを起点に、何を／しないを町民自身も議論しながら未来を描く町でありたい。

個別事業提案

町民サービス

- 町民向けの割引・優待など、町民サービスの充実

広報・シティプロモーション

- 町のキャラクター（あびたまなっちゃん）の公式化や、より定着するためのブラッシュアップ
- 若い世代の活動や取組の成果が、町民に届く形で伝わる工夫（発信・可視化）

若者の居場所・楽しみ

- 若者向けの娯楽・居場所となる施設や場の充実

人材・担い手の確保

- 地域おこし協力隊の雇用に関し、地元人材の雇用機会との関係を意識した運用
→ 隊員の多さとそれに付随する町民の雇用への懸念

子育て・教育

政策的提案

成果の見える化

- 教育投資の成果（子どもの育ち、町の豊かさの実感）が見えるよう、丁寧な振り返りと発信

学び・活動・進路の選択肢

- 子どもの成長段階が進むほど選択肢が狭まらないよう、学び・活動・進路の幅を確保する視点

安心と公平性を支える支援体制

- 不登校・いじめ等への対応は、当事者の安心と公平性が担保される仕組みづくりを重視する。

教育に対する考え方

- 子どもだけでなく全世代の学びの機会を守り、暮らし・経済・基盤を支えるまちへ。
- 元気な高齢者の知恵や得意を、子どもや地域に活かせる関係づくり

個別事業提案

不登校・いじめ・安全

- 不登校の子どもへの支援拡充、フリースクール等の選択肢の充実
- 学校の不審者対策の強化
- いじめ事案の調査に第三者性を持たせる仕組み

子育て支援・保育

- 保護者への子育て支援金等の支援拡充
- 子育て支援センターの支援員増員
- 0～2歳児の保育料無償化

給食・食育

- 給食費の無償化
- 給食メニューの充実（地元食材・有機食材の活用等）
- 学校給食の提供を町民にも広げる仕組み（提供の場づくり、配食等）

学校環境・施設（学び・運動）

- こども園・学校へのエアコン整備
- 教室不足への対応
- 追分・早来間の教育設備格差の是正（例：プール等）
- 体育施設の環境改善
- トレーニングルームのシルバー割引導入

- 追分地区で気軽に利用できるジム機能の整備
- 旧早来中学校跡地の状況説明と有効活用

文化・学びの場・進路

- 郷土資料館を魅力ある施設へ改善
- 文化・芸術に触れる機会の拡充（演劇、絵画展等）
- 追分高校の存続に向けた専門性の高い学科・資格取得機会の導入
- 図書館の IT 関連書籍の充実

居場所・交流・イベント

- 町外からも来訪が期待できる公園や雨天型遊戯施設の検討
- 子育て世帯向けイベントの継続・拡充
- 追分児童館の機能強化
 - 中学生くらいまでの居場所としての本来機能へ

施設の案内・運用

- 町民センター等の利用方法が分かりやすくなる案内・運用
 - 特にお年寄りへの配慮

商工・観光

政策的提案

- 事業者や商工団体が活用しやすい支援制度（イベント支援等）へ、申請ハードルの低減や設計の工夫
- 商店が閉店する前に、早めに兆しを捉えて支える仕組みづくり
- あびらポイントの位置づけや効果を踏まえた改善
- 道の駅を“対外向け”だけでなく、町民にとっても身近な拠点として育てる視点
- 観光は季節偏重を避け、通年で体験・滞在できる魅力をつくり、地域経済の潤いにつなげる。
 - 菜の花以外の資源の発掘への期待

個別事業提案

- 地域イベントへの助成（条件設定を含む）や、発起人にメリットを付与する仕組み
- あびらポイントの付与率の見直し
- あびらポイントを利用できる店舗・場所の拡大（例：サツドラ、ニコット等）
- 道の駅での高齢者向け・町民還元イベントの開催
- 道の駅イベントへの出店機会を増やし、団体の活動資金確保につなげる。
- 宿泊施設の拡充
- 小規模スーパー等、日常の買い物環境のさらなる充実
- 安平山スキー場の有効活用（合宿、モータースポーツ、施設誘致等の検討）

移住・定住

政策的提案

- 宅地の確保や住宅支援の充実（移住希望者が住まいを確保しやすい環境づくり）
- 移住者だけでなく、既存住民も住まいを確保しやすい支援の検討

個別事業提案

- 住宅建設時の記念品（例：シバザクラの提供）など、安平町らしい後押し
- 単身者向けの安価で質の良い賃貸住宅の整備

公共交通

政策的提案

- 高齢化や免許返納の増加を踏まえた移動手段の確保（安心して暮らせる交通網）
- 現在の支援策（タクシー等）の継続・改善

個別事業提案

- JRの利便性向上（列車本数の増便等）
- 鶴の湯への移動手段の確保
- 札幌・千歳・苫小牧方面へのバス運行等、受診・通院の足の確保

道路/防犯・防災/景観/公園/環境衛生

政策的提案

- 静かで緑の多い自然環境を守り、景観との調和を重視する。
- 太陽光発電施設等の増加に伴う景観・環境面の懸念への対応
- 森林伐採等の環境負荷が大きい形でのエネルギー推進には慎重であるべきという視点
- 災害時に確実に情報が届く防災体制の強化（情報伝達の実効性）

個別事業提案

- 街灯の点検・修繕
- 道路の補修（特に劣化が著しい区間の早期対応）
- 歩きたくなる町並みづくり（子どもや町民の作品・写真展示等）
- 身近な公園の魅力向上と、防犯上の見通し改善
- 廃屋・放置地の整理、標識・看板の更新など景観整備
- 安平チャンネルや防災アナウンスの受信環境改善、戸別受信機等の検討
- 一人暮らし向け小容量ごみ袋の販売

福祉・医療

政策的提案

- 町内で安心して受診できる医療提供体制の充実（急病時の安心）
- 子育て期の医療体制（小児）や出産体制（産科）の確保
- 買い物・移動・除雪など、高齢になっても住み続けられる生活支援の充実
- 健康寿命の延伸に資する取組（健診等）の継続・強化

個別事業提案

- 入院設備のある病院・医療機関の確保
- 小児科の体制整備
- 町内で出産できる体制の整備
- 運動教室等の定期プログラム（ポイント付与等、継続しやすい工夫）
- 買い物支援、同行支援、冬の除雪支援の拡充

水道

政策的提案

- 老朽化による破損等を見据えた定期的/計画的な取り組み

個別事業提案

- 水道料金の負担軽減（減額等）
- 老朽化による破損等を見据え、緊急時対応手順の定期的な見直し（手順書のアップデート）

農業

政策的提案

- 有機農業の推進と、既存の農業への目配り・支援の両立

個別事業提案

- 安平産の米・野菜等のPR強化
- 有機農業以外の農業への配慮
 - 有機農業だけが目立っているという懸念

行財政/地方自治

政策的提案

- 町議会議員の担い手確保の観点から、報酬水準や環境の見直し
- 自治会の高齢化・機能低下を踏まえ、統合や活動の再設計、町の関与のあり方の検討
- 空港・港への近さ等を踏まえた外貨獲得の視点と、税金を増やす道筋を町民参画で考える場づくり
- 非合理的な慣習に左右されず、公平に行政サービスを受けられる状態を目指す。
- 行政は必要最低限を担い、民間が成り立つ領域は民間の力も活かすという考え方
- 行政が“住民協力”に過度に依存しない仕組みづくり

その他（アンケート手法等へのご指摘）

個別事業提案

- アンケート設計の工夫（困りごと・心配ごとを問うなど、書きやすい問いにする。）
- 将来像（人口規模、まちの姿）の見通しを分かりやすく示す。

◇教育まちづくりフォーラム 2025（100 人会議） __ 全体概要

2025 年 8 月 18-19 日に開催された「教育まちづくりフォーラム」における最終プログラム「100 人会議」の内容について、まずは当日参加者と共有したスライドや現地で行われたグラフィックレコーディングをもとに、活動の概要および共有された主な視点を整理する。

1. 事業の目的・位置付け

本フォーラムは、教育を学校内に限定された取組として捉えるのではなく、世代を超えて地域全体で支え合い、育てあっていく営みとして教育を再定義する、「教育まちづくり」という視点に立って開催された。

特に、フォーラム最終コンテンツの「100 人会議」は、多様な立場の参加者（町内外の方が含まれる。）が対話を通じて意見や考えを共有し、相互理解を深める場として設定したものである。

2. 実施内容（教育まちづくりフォーラムの概要）

本フォーラムにおける各種プログラムでは、登壇者それぞれが教育や地域との関わりについてパネルディスカッションが展開された。

特定の結論や合意形成を目的とするのではなく、登壇者の考えを可視化し、教育を軸としたまちづくりの関係性を多角的に捉えることが重視された。

【主な観点】

（1）教育の担い手の多様化

教育は学校や教員のみが担うものではなく、子ども、保護者、地域住民、事業者、行政など、多様な主体が関わることで成り立つという認識が共有された。

（2）学びと地域生活の連続性

農業、仕事、文化、暮らしといった地域の日常が学びの場となり得ることが示され、学びが生活や地域活動と地続きであるという視点が強調されていた。

（3）対話と関係性の重視

意見の集約や評価よりも、対話そのものを通じて関係性を築くことが重要であるという姿勢が全体に表れた。

（4）行政の役割に関する示唆

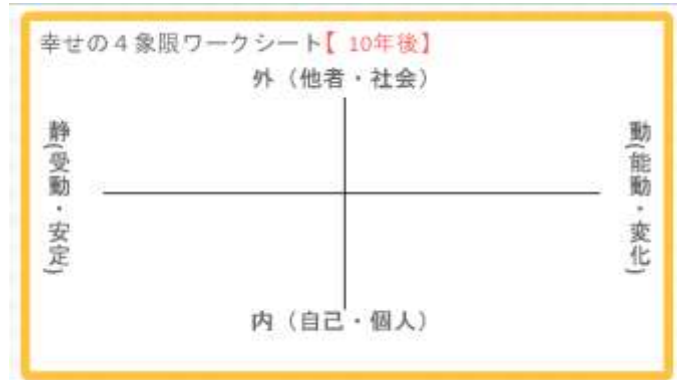
行政がまちづくりの主体として前面に立つのではなく、多様な主体が関わりやすい環境や対話の場を整える役割を担う存在として描かれた。

◇100 人会議 ワークショップ_結果報告

2025 年 8 月 19 日開催「あびら教育まちづくりフォーラム 2025」内の「100 人会議」で実施されたワークショップに関し、当日編成された 15 グループのアウトプットを下記に整理する。

1. ワークショップの概要

本ワークショップは、「しあわせってどんなこと？」という問いを起点に、参加者が「10 年後のしあわせ」を想像し、共有することを目的として実施された。4～名のグループに分かれ、「幸せの 4 象限ワークシート」を用いてブレストした。



2. ワークショップ結果（4 象限別）

15 グループのアウトプットをまとめると、次のような結果／傾向が見られた。

① 内×静（自己・個人／受動・安定）

- 心身ともに健康であること
- 安心して暮らせる生活基盤があること
- 経済的不安が少ないこと
- 自分らしく、無理をせずに過ごしている状態
- 家族と穏やかに過ごせる日常
- 孤立せず、見守られていると感じられること
- 生活リズムが整い、心に余裕があること
- 年齢や立場に関わらず安心できる居場所があること

【特徴】

「頑張らなくても守られている」「不安が小さい」状態を、10年後のしあわせの土台として捉える意見が多い。

② 内×動（自己・個人／能動・変化）

- 自分のやりたいことに挑戦できている
- 学び続けられる環境がある
- 仕事や活動にやりがいを感じられる
- 新しいことにチャレンジできる余白がある
- 自分の強みや個性を活かしている
- 年齢に関係なく成長を実感できる
- 好きなこと・得意なことに時間を使っている
- 将来に希望を持っている

【特徴】

「変化できること」「選択できること」そのものが、しあわせの条件として語られている。

③ 外×静（他者・社会／受動・安定）

- 地域に信頼関係がある
- 困ったときに助け合える人がいる
- 子どもや高齢者が安心して暮らせるまち
- 誰一人取り残されない社会
- 治安が良く、災害への備えがある
- 行政や制度が信頼できる
- 子育てや介護を社会で支えている
- 安心して住み続けられる地域であること

【特徴】

「個人の努力に依存しない安心」が、地域・社会側の条件として挙げられている。

④ 外×動（他者・社会／能動・変化）

- 地域や社会の役に立っている実感
- 仕事や活動を通じた社会貢献
- 子どもを育て、次世代につなぐこと
- 地域活動やまちづくりに関われる
- 多様な人と協働できる
- 立場を超えて対話ができる
- 地域に仕事や挑戦の場がある
- 「自分もまちの一員だ」と感じられること

【特徴】

「誰かのために動くこと」「関係の中で役割を持つこと」が、しあわせとして位置付けられている。

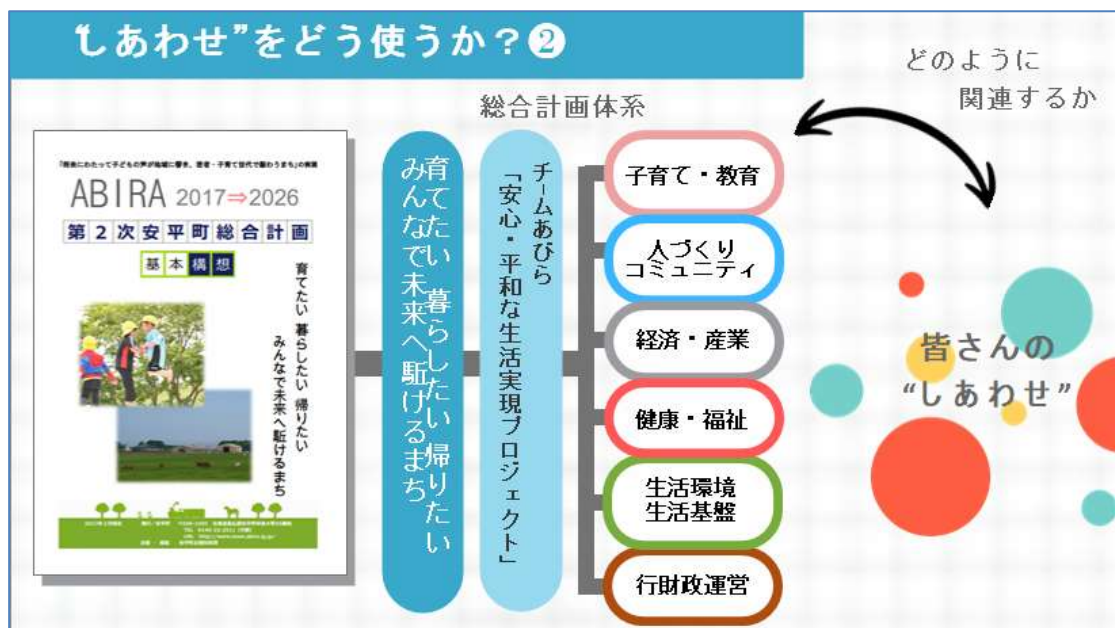
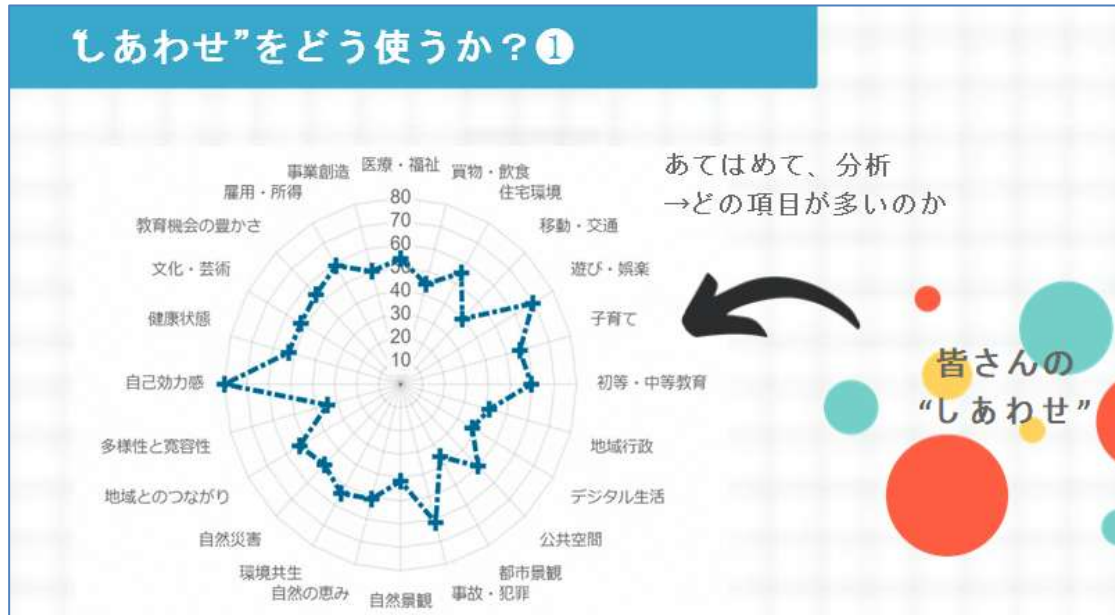
3. ワークショップ結果のまとめ

15 グループの意見は全体として、『個人の安心・成長』と、『社会の支え・関係性』の双方が成立している状態が、10年後のしあわせとして描かれていた。

この結果を踏まえて公共（行政）としては、多様な価値観を持つ人々が、様々な選択ができるよう土台作りを進めること／強化することが、ウェルビーイングに立脚したまちづくりの方向性が示唆されたと受け止めている。

◇100 人会議 ワークショップ結果「しあわせ」意見の分析①__ Well-being 指標への分類整理

100 人会議ワークショップでは、「10 年後のしあわせ」に関する意見出してもらうに留め、今後、庁内において次の 2 つの作業をするための材料として受け止める趣旨であることを参加者に対して伝え、会議を結んだ。



1. 「“しあわせ”をどう使うか？①」への分類試行

そこでまずは、先述の「ワークショップ結果（4 象限別）」の①～④で出された（まとめられた）意見について、「“しあわせ”をどう使うか？①」に分類を試みた。 ※1 意見=1 カテゴリで分類を試行している。

①-④区分	WS まとめ意見	well-being カテゴリ
① 内×静	心身ともに健康であること	医療・福祉
	安心して暮らせる生活基盤があること	住環境
	経済的不安が少ないこと	雇用・所得
	自分らしく、無理をせずに過ごせている状態	医療・福祉
	家族と穏やかに過ごせる日常	子育て
	孤立せず、見守られていると感じられること	安全・安心
	生活リズムが整い、心に余裕があること	医療・福祉
	年齢や立場に関わらず安心できる居場所があること	地域とのつながり
② 内×動	自分のやりたいことに挑戦できている	自己効力感
	学び続けられる環境がある	教育機会の豊かさ
	仕事や活動にやりがいを感じられる	自己効力感
	新しいことにチャレンジできる余白がある	自己効力感
	自分の強みや個性を活かしている	自己効力感
	年齢に関係なく成長を実感できる	教育機会の豊かさ
	好きなこと・得意なことに時間を使えている	文化・余暇
	将来に希望を持っている	自己効力感
③ 外×静	地域に信頼関係がある	地域とのつながり
	困ったときに助け合える人がいる	地域とのつながり
	子どもや高齢者が安心して暮らせるまち	医療・福祉
	誰一人取り残されない社会	医療・福祉
	治安が良く、災害への備えがある	安全・安心
	行政や制度が信頼できる	地域行政
	子育てや介護を社会で支えている	医療・福祉
	安心して住み続けられる地域であること	住環境
④ 外×動	地域や社会の役に立っている実感	地域とのつながり
	仕事や活動を通じた社会貢献	地域とのつながり
	子どもを育て、次世代につなぐこと	子育て
	地域活動やまちづくりに関われる	地域とのつながり
	多様な人と協働できる	多様性と寛容性
	立場を超えて対話ができる	多様性と寛容性
	地域に仕事や挑戦の場がある	雇用・所得
	「自分もまちの一員だ」と感じられること	地域とのつながり

2. 分類カテゴリ別 件数一覧

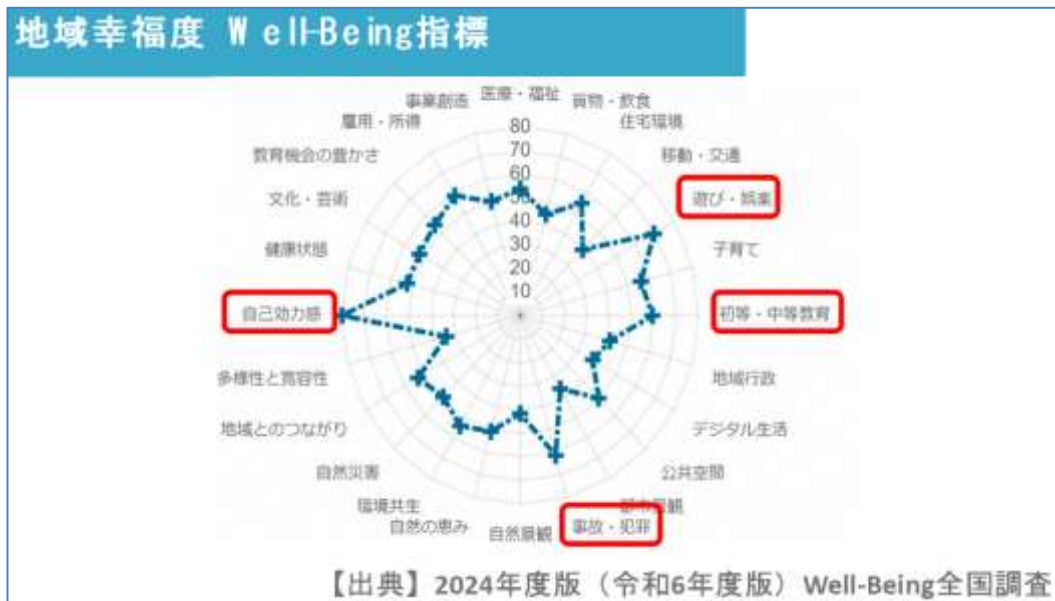
1. で試行した分類の分布は、次の通りである。

分類カテゴリ	件数	分類カテゴリ	件数
医療・福祉	6	教育機会の豊かさ	8
住環境	2	文化・余暇	1
雇用・所得	2	安全・安心	2
子育て	2	自己効力感	5
地域行政	1		

3. 整理上の留意点 ①関係

本件数は、ワークショップで出された各意見について、最も関連性が高いと考えられる分類カテゴリを1つ割り当てた結果である。そのため、実際には複数の分野に関係する意見も含まれているが、本整理ではレーダーチャート等による可視化を想定し、主分類のみを採用している。

また、以下は2024・2025年度に実施された「well-being 全国調査」における安平町の結果である。



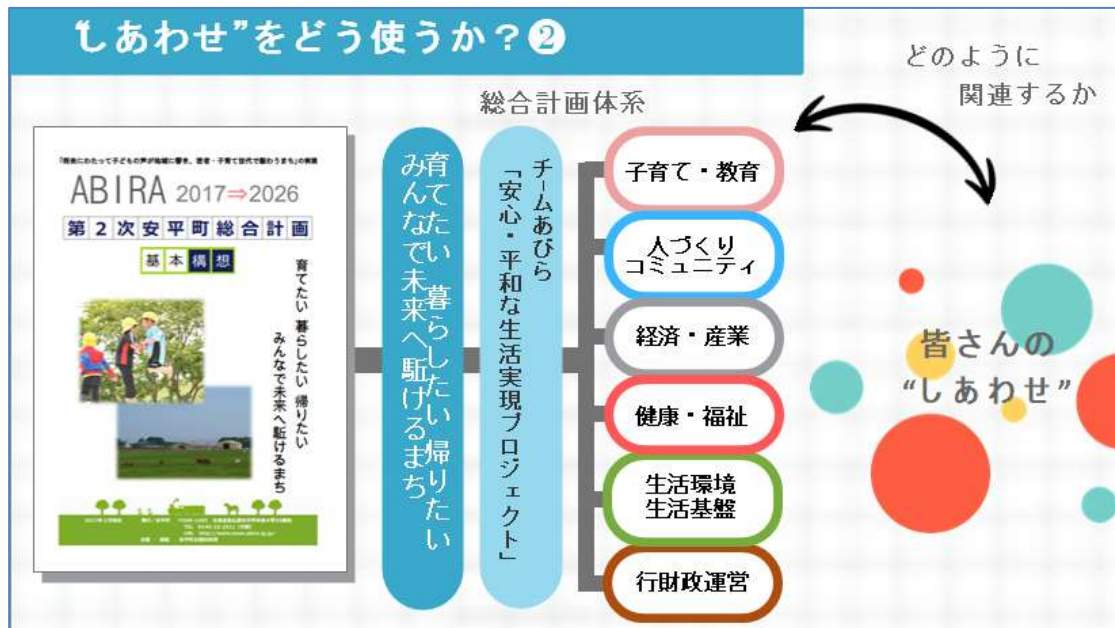
今回の4象限でのワークは換言すれば、「しあわせとは、だれのものか」【主体】と「しあわせとは、どんな状態か」【状態】を調査したということができると考えられる。よって、これを well-being 指標に置き換えた際には、「事業創造」「初等・中等教育」「移動・交通」「デジタル生活」「自然災害」「自然の恵み」など、

「しあわせのために、人々はどんな環境に身を置くか」という【条件】面が意見されにくいものであったのではないかと考えている。また、総合計画のとりわけ基本構想においては、「今がしあわせかどうか」とうことを踏まえながらも、「10年後どういったしあわせの状態でありたいか」といった“目指す姿／将来像”を示すものであるという性質に鑑みれば、well-being 指標はあくまで“現在のしあわせ満足度”を測定するものであることに留意する必要がある。さらに付け加えれば、意見の分類は、担当者の主観によるところである（絶対的判断基準がない）点も考慮しなければならない。

◇100 人会議 ワークショップ結果「しあわせ」意見の分析②__第 2 次総合計画政策分野への分類整理

1. 「“しあわせ”をどう使うか?②」への分類試行

次に、共有された「10年後のしあわせ」に関する意見と、「“しあわせ”をどう使うか?②」で示した、第2次総合計画における6つの政策分野との関係について整理・分析を行う。



2. 整理の目的

本整理は、行政が実施する各分野の施策が、町民一人ひとりの「しあわせ」の向上に対して、どのような役割（＝土台づくり）を果たしているのかを明確にすることを目的とする。

3. 前提となる考え方

100 人会議で描かれた「しあわせ」は、医療・福祉や教育といった単一の行政分野に直接対応するものではなく、複数の分野が重なり合うことで生まれる状態や実感として捉えられている。事実、① 1. の分類表へはいくつもの well-being 指標カテゴリにまたがると解釈できるものが多数見受けられる。

そのため、本整理では「しあわせを分野に分類する」のではなく、「行政分野が、どのしあわせの土台を支えているのか」という視点で関係性を試行する。

※ 1 意見 = 1 分野で分類を施行している。

4. 現行総合計画政策6分野と、支えている「しあわせ」の関係

政策分野	WS まとめ意見
子育て・教育	<p>学び続けられる環境がある 年齢に関係なく成長を実感できる 将来に希望を持っている 自分のやりたいことに挑戦できる 新しいことにチャレンジできる余白がある 好きなこと・得意なことに時間を使っている 子どもを育て、次世代につなぐこと</p>
人づくり・コミュニティ	<p>孤立せず、見守られていると感じられること 地域や社会の役に立っている実感 「自分もまちの一員だ」と感じられること 自分らしく、無理をせずに過ごせている状態 年齢や立場に関わらず安心できる居場所がある 困ったときに助け合える人がいる 子どもや高齢者が安心して暮らせるまち 地域活動やまちづくりに関われる 多様な人と協働できる 立場を超えて対話できる 地域に信頼関係がある</p>
経済・産業	<p>経済的不安が少ないこと 仕事や活動にやりがいを感じられる 自分の強みや個性を活かしている 仕事や活動を通じた社会貢献 地域に仕事や挑戦の場がある</p>
健康・福祉	<p>心身ともに健康であること 家族と穏やかに過ごせる日常 誰一人取り残されない社会 生活のリズムが整い、心に余裕があること 子育てや介護を社会で支えている</p>
生活環境・生活基盤	<p>安心して暮らせる生活基盤があること 安心して住み続けられる地域であること 治安が良く、災害への備えがある</p>
行財政運営	<p>行政や制度が信頼できる</p>

4-2. 現行総合計画政策6分野と、支えている「しあわせ」の関係②

4. 1意見＝1分野で作業をするとやはり well-being 指標へ分類した時と同様にいくつかの分野にまたがると解釈できるものが見受けられる。そこで、当該分野に該当となる「しあわせ意見」を制限なく分類してみることにする。

※1意見＝複数分野（最大6分野すべて）

政策分野	WS まとめ意見
子育て・教育	心身ともに健康であること 家族と穏やかに過ごせる日常 孤立せず、見守られていると感じられること 生活のリズムが整い、心に余裕があること 年齢や立場に関わらず安心できる居場所がある 自分のやりたいことに挑戦できる 学び続けられる環境がある 活動にやりがいを感じられる 新しいことにチャレンジできる余白がある 自分の強みや個性を活かしている 年齢に関係なく成長を実感できる 好きなこと・得意なことに時間を使っている 将来に希望を持っている 子どもが安心して暮らせるまち 誰一人取り残されない社会 子育てを社会で支えている 地域や社会の役に立っている実感 活動を通じた社会貢献 子どもを育て、次世代につなぐこと 地域活動やまちづくりに関われる 多様な人と協働できる 立場を超えて対話できる 地域に挑戦の場がある 「自分もまちの一員だ」と感じられること 行政や制度が信頼できる
人づくり・コミュニティ	心身ともに健康であること 安心して暮らせる生活基盤があること 自分らしく、無理をせずに過ごせている状態 家族と穏やかに過ごせる日常 孤立せず、見守られていると感じられること 生活のリズムが整い、心に余裕があること 年齢や立場に関わらず安心できる居場所がある 自分のやりたいことに挑戦できる 学び続けられる環境がある 活動にやりがいを感じられる 新しいことにチャレンジできる余白がある 自分の強みや個性を活かしている 年齢に関係なく成長を実感できる 好きなこと・得意なことに時間を使っている 将来に希望を持っている

地域に信頼関係がある
困ったときに助け合える人がいる
子どもや高齢者が安心して暮らせるまち
誰一人取り残されない社会
子育てや介護を社会で支えている
安心して住み続けられる地域であること
地域や社会の役に立っている実感
活動を通じた社会貢献
子どもを育て、次世代につなぐこと
地域活動やまちづくりに関われる
多様な人と協働できる
立場を超えて対話できる
地域に挑戦の場がある
「自分もまちの一員だ」と感じられること
行政や制度が信頼できる

経済・産業

心身ともに健康であること
安心して暮らせる生活基盤があること
経済的不安が少ないこと
自分らしく、無理をせずに過ごせている状態
家族と穏やかに過ごせる日常
生活のリズムが整い、心に余裕があること
自分のやりたいことに挑戦できる
学び続けられる環境がある
活動にやりがいを感じられる
新しいことにチャレンジできる余白がある
自分の強みや個性を活かしている
年齢に関係なく成長を実感できる
好きなこと・得意なことに時間を使っている
将来に希望を持っている
地域に信頼関係がある
困ったときに助け合える人がいる
誰一人取り残されない社会
行政や制度が信頼できる
子育てや介護を社会で支えている
安心して住み続けられる地域であること
地域や社会の役に立っている実感
仕事を通じた社会貢献
地域活動やまちづくりに関われる
多様な人と協働できる
立場を超えて対話できる
地域に挑戦の場がある
「自分もまちの一員だ」と感じられること

健康・福祉

心身ともに健康であること
安心して暮らせる生活基盤があること
経済的不安が少ないこと
自分らしく、無理をせずに過ごせている状態
家族と穏やかに過ごせる日常

孤立せず、見守られていると感じられること
生活のリズムが整い、心に余裕があること
年齢や立場に関わらず安心できる居場所がある
自分のやりたいことに挑戦できる
学び続けられる環境がある
仕事や活動にやりがいを感じられる
新しいことにチャレンジできる余白がある
自分の強みや個性を活かしている
年齢に関係なく成長を実感できる
好きなこと・得意なことに時間を使っている
将来に希望を持っている
地域に信頼関係がある
困ったときに助け合える人がいる
子どもや高齢者が安心して暮らせるまち
誰一人取り残されない社会
行政や制度が信頼できる
子育てや介護を社会で支えている
安心して住み続けられる地域であること
地域や社会の役に立っている実感
活動を通じた社会貢献
子どもを育て、次世代につなぐこと
地域活動やまちづくりに関われる
多様な人と協働できる
立場を超えて対話できる
「自分もまちの一員だ」と感じられること

生活環境・生活基盤

心身ともに健康であること
安心して暮らせる生活基盤があること
経済的不安が少ないこと
自分らしく、無理をせずに過ごせている状態
家族と穏やかに過ごせる日常
孤立せず、見守られていると感じられること
生活のリズムが整い、心に余裕があること
年齢や立場に関わらず安心できる居場所がある
地域に信頼関係がある
困ったときに助け合える人がいる
子どもや高齢者が安心して暮らせるまち
誰一人取り残されない社会
治安が良く、災害への備えがある
行政や制度が信頼できる
子育てや介護を社会で支えている
安心して住み続けられる地域であること
地域や社会の役に立っている実感
仕事や活動を通じた社会貢献
地域活動やまちづくりに関われる
多様な人と協働できる
立場を超えて対話できる
「自分もまちの一員だ」と感じられること

行財政運営

「行政や制度が信頼できる」
を中心に、すべての意見に基づき、町民のみなさんの
しあわせの土台づくりとしての福祉の増進が私たち
地方公共団体の使命である。

分野	分布件数	分野	分布件数
子育て・教育	25	健康・福祉	30
人づくり ・コミュニティ	31	生活環境 ・生活基盤	22
経済・産業	26	行財政運営	32

◇100 人会議における「しあわせ」意見の整理__まとめ／考察

1. これまでの整理の経過

以上で見てきたように、100 人会議ワークショップで得られた『しあわせ』意見を起点に、国が示す well-being 指標や第 2 次（現行）総合計画に掲げる政策 6 分野との関係性について整理を試みた。

well-being 指標への整理（分類）に関しては、今回のワークが「しあわせとは、だれのものか」【主体】と「しあわせとは、どんな状態か」【状態】を調査し、「しあわせのために、人々はどんな環境に身を置くか」【条件】という視点が問われなかったことにより、「事業創造」「初等・中等教育」「移動・交通」「デジタル生活」「自然災害」「自然の恵み」などの意見されにくいものであった。

第 2 次（現行）総合計画 に掲げる政策 6 分野との関係性について整理に関しては、各意見を 1 意見＝1 分野の分類に加え、1 意見＝多分野に分類して件数集計を行った結果、ほぼ全ての分野に横断的に関連する事実が浮かび上がったように捉えられる。

2. 分類の限界

これらの分析を通じて明らかになったのは、次の構造が見えてきたということだと考える。

①今回のワークが人々の考える well-being の状態がどのようなものであるのかという一端を確認することができたものの、国が実施する well-being 指標とは必ずしも尺度が一致しないということ

②政策 6 分野への分類は、人々のしあわせを“1 対 1”で対応づけようとするとう違和感や無理が生じることが確認されたこと、“1 対多”では多くの分野での重複が確認されたことから、その政策分野が本来『その政策を実施するための手段』を整理するための枠組みであって、人々が描く『しあわせ』は『状態・実感・経験』として分野横断的に存在するということ

3. 発想の転換：分野は「土台」

当初は、『しあわせを行政分野に分類できないか』という仮説のもとワークを設計したが、見出された結果から政策 6 分野が町民のしあわせを直接生み出すものではなく、それを下支えする基盤・環境整備として位置づけられる、つまり『各行政分野は、どのしあわせの土台を支えているのか』という発想が必要ではないかと考えられる。

4. しあわせの再整理（5 つの上位分類）

この考え方に立てば、参加者の描いたしあわせを俯瞰し、ある程度収斂させ、政策分野の上位に置く（上位概念とする）ことが妥当であると考えた。

例えば、次のようなものが考えられる。

- ① 安心して生きられるしあわせ（健康・安心・取り残されない）
- ② 自分で選び、成長できるしあわせ（学び・挑戦・希望）
- ③ 役に立ち、つながっているしあわせ（役割・貢献・居場所）
- ④ 暮らしを楽しめるしあわせ（余白・日常・家族・楽しさ）
- ⑤ 自然・地域とともにあるしあわせ（環境・循環・土地との関係）

5. 総合計画における表現の可能性

これら5つのしあわせを総合計画の上位概念にしようとする場合、どのような位置づけが適切か。この5つの性質を鑑みたとき、町民の皆さまにお伝えした広報あびら11月号の内容とミッション・ビジョン・バリュー（MVV）が想起される。

▶以下、広報あびら11月号「総合計画」ページからの抜粋

自治体（地方公共団体）の役割

安平町（地方公共団体）の存在を規定する「地方自治法」という法律の中に、地方公共団体の“役割”が書かれています。

【地方自治法 第1条の2 第1項】

地方公共団体は、住民の福祉の増進を図ることを基本として、地域における行政を自主的かつ総合的に実施する役割を広く担うものとする。

この役割を達成することが、安平町（地方公共団体）としての“目的”ということになります。

住民の福祉

ここでいう「福祉」とは、いったいどういう意味なのでしょう。地方自治法には意味が直接書かれていないため表現の仕方はさまざまですが、おおむね次のとおりと理解されています。

【福祉の意味】

心身ともに健康で、安心して、自分らしく暮らすことができるよう、社会全体で支えること。



児童福祉や、高齢者福祉など分野的、制度的な意味での「福祉」よりも意味が広いたま〜

Well-being（ウェルビーイング）

この言葉を聞いたことがあるでしょうか。WHO（世界保健機関）では、50年以上前からこの考え方に着目して取り組みが進められてきました。

SDGs（持続可能な開発目標）という国際連合が定めた世界共通の具体的な目標を実現するための中心的理念にも据えられています。また、日本政府としても、各種計画や指標づくりの中で重視されるべき考え方として取り入れられています。

【ウェルビーイングの意味】

身体的にも、精神的にも、社会的にもできるだけ良いとされる状態のこと。

まとめ 第3次総合計画で大切にしたい考え方

「福祉」と「ウェルビーイング」は、端的に表現すれば住民の皆様の「幸せ」につながりますが「幸せ」のかたちは人それぞれです。その多様な「幸せ」のかたちを追求できるような土台作りが「まちづくり」であり、その設計図が総合計画だと捉えています。

この総合計画の策定を義務付ける「町の憲法」といわれる「安平町まちづくり基本条例」には、次のような目的が明記されています。

【安平町まちづくり基本条例第1条】

この条例は、安平町におけるまちづくりの基本原則を明らかにするとともに、町民、議会、町及び職員の責務並びに町政運営の基本的事項を定めることにより、**町民自ら考え行動する町民自治の実現**を目的とします。

第3次総合計画は、多様な価値観を持つ町民の皆さんが求めるさまざまな形の「幸せ」を実現し、安平町で安心、安全に暮らせることを目指すための計画です。

▶ミッション・ビジョン・バリュー (MVV) について

ミッション=Mission 、ビジョン=Vision 、バリュー=Value

MVVとは、組織や取り組みの「軸」を整理する考え方です。
ミッションは「なぜ存在するのか」、
ビジョンは「どんな未来を目指すのか」、
バリューは「そのために何を大切に行動するのか」を示す。

社会課題が複雑化し、正解が一つではない時代においては、個々の施策や事業の前に、判断の拠り所となる共通の考え方が不可欠。
MVVを共有することで、関係者の判断や行動に一貫性が生まれ、目的から外れない取り組みが可能となる。

広報11月号で示した通り、『住民の福祉の増進を図ること』が地方公共団体の“ミッション”であることは揺るぎない。そして、次期総合計画ではwell-beingの考え方を大切にしたいという方向性や今回のワークを踏まえれば、まさに上記5つの区分が“ビジョン”に相当するということになり得る。また、まちづくり基本条例に規定される理念『町民自ら考え国道する町民自治の実現』に加えて、これまで当庁が大切にしてきた『CFCI』（子どもにやさしい=すべてのひとにやさしい）や『SDGs』（だれ一人取り残さない）が“バリュー”に適するものと考えられる。

整理すると次の通りとなる。

【ミッション = なぜ存在するか】※地方自治法より

町民の皆さまの福祉（しあわせ）の増進を図る。

【ビジョン＝どんな未来を目指すのか】※well-being

次の5つのしあわせを町民の皆さまが実現できることを目指す。

- ① 安心して生きられるしあわせ（健康・安心・取り残されない）
- ② 自分で選び、成長できるしあわせ（学び・挑戦・希望）
- ③ 役に立ち、つながっているしあわせ（役割・貢献・居場所）
- ④ 暮らしを楽しめるしあわせ（余白・日常・家族・楽しさ）
- ⑤ 自然・地域とともにあるしあわせ（環境・循環・土地の関係）

【バリュー＝なにを大切に行動するか】※まちづくり基本条例・CFCI・SDGs

・町民の皆さま一人ひとりがのしあわせを掴みにいくことを後押しする。

・“みんなにやさしいまちづくり”で、誰一人取り残さない。

▶100 人会議で参加者へ説明したスライドからの抜粋

まちづくり基本条例の理念

- ✓ 町民自ら考え行動する町民自治の実現
- ✓ 町は、まちづくりの主役である町民の主体性を支援し、共に歩む責務を負う

町民一人ひとりが
『しあわせをとりにいく』
ことを後押しするまちをつくるという考え方

大切にしているその他の理念

CFCI
子どもにやさしいまちづくり

子どもにやさしい＝すべての人にやさしい

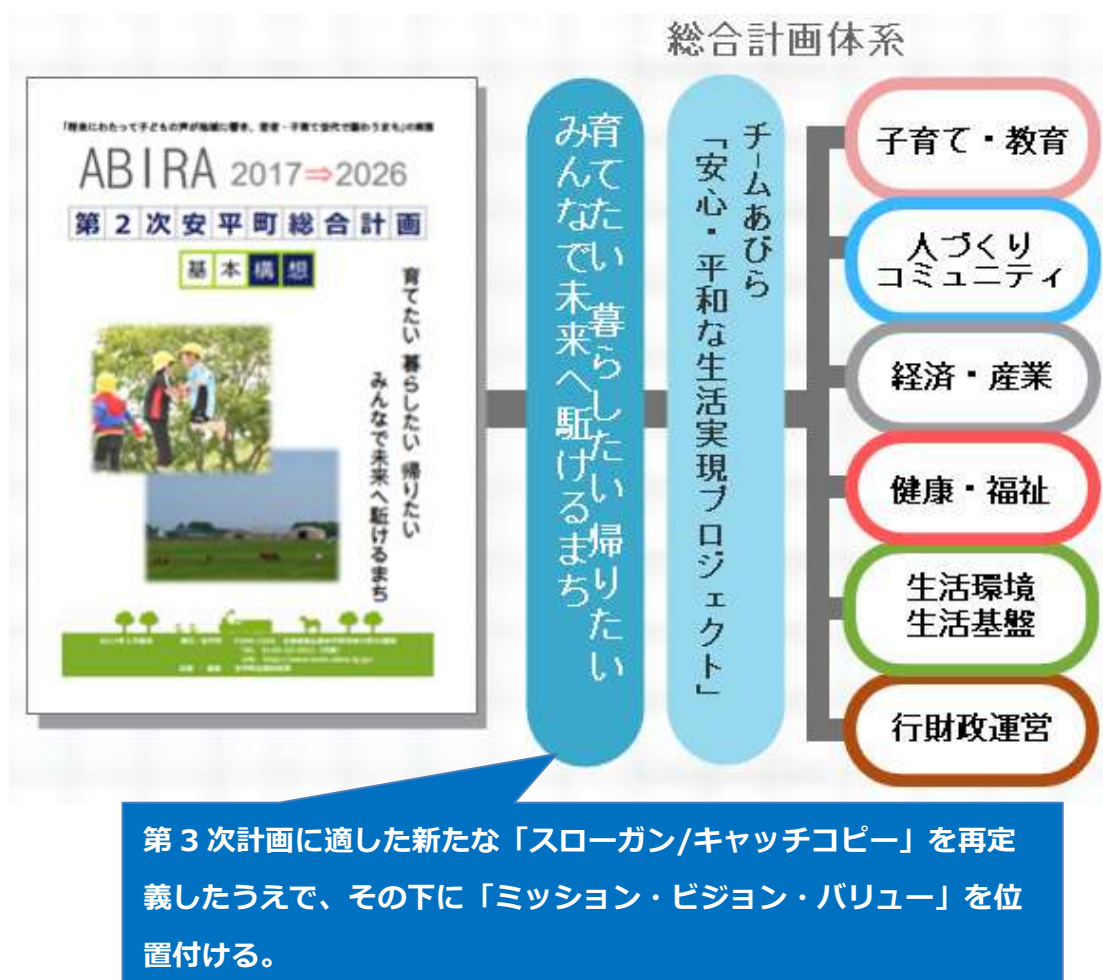
SDGs
持続可能な開発目標

誰一人取り残さない

6. まとめ

これらミッション・ビジョン・バリューの下に、6分野の政策がぶら下がる構造とすることで、行政の縦割り構造を維持しつつ、町民の実感に沿った『横断的な価値構造』を示すことが可能になると考えられる。

【イメージ】



つまりこの構造により、職員にとっては自らの業務の意味を再確認する枠組みとなり、町民にとっては計画を『自分ごと』として理解しやすくする効果を期待したい。

さらに換言すれば、『行政の仕事は縦割りであるが、人々のしあわせは横断的である』という前提を、総合計画を通して町民の皆さまと共有する、総合計画を共通言語とすることが重要なのではないだろうかという仮説を得た。

5つのしあわせを軸に、政策分野がその育む土台として再定義する構造は、安平町らしい新たな総合計画の方向性を示す有効な整理であり、今後の計画策定における検討において重要な考え方の一つとして位置づけていきたい。